

医学部

神戸大学・大阪市立大学・大阪医科大学等、
関西の国公立大医学部医学科合格を目指します

専門

コース

新設

中学1年生・高校1年生の
募集を行います

数しま塾は大阪星光学院生・四天王寺学園生専門塾としてこれまで指導を行ってきましたが、
今回の医学部専門コースはこの2校に限定しませんので、ぜひご検討ください。

驚異の合格実績を誇る数しま塾が医学部専門コースを新設します。医学部受験をお考えの方
はぜひ当塾にお任せ下さい。気になる指導料も他のコースとまったく同じでリーズナブルです。

本年も大阪市立大学医学部医学科をはじめ、志望者4名全員が医学部医学科合格するなど
当塾に3年以上在籍の塾生の医学部現役合格率は75%を超えています。
しかもこれまでは医学部コース等能力別クラス分けなしでの結果です。

これまでの医学部医学科合格実績

北海道大学・山梨大学・広島大学・鳥取大学・滋賀医科大学・大阪市立大学・
自治医科大・順天堂大学・大阪医科大学・関西医科大学・福岡大学等多数



説明会・模擬授業にぜひご出席ください。
開催日時詳細・参加お申し込みはWEBで!!



<http://www.suushima.com/>

大阪医科大学
仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第48巻第3号	
発行所	
〒569-8686 高槻市大学町 2-7	
電話	FAX
072-682-6166	072-682-6636
発行者	発行部数
河野 公一	6,100 部
URL	
http://www.jinsenkai.net	

information!

2017.5.28

平成29年 評議員会
および総会を開催いたします



in KOBE

目次

P3 平成 29 年 評議員会及び総会招集のご案内
平成 28 年度 卒業証書・学位記授与式

P8 学長告辞

P10 祝辞

P11 医学部長式辞

支部だより

P12 東日本支部総会の報告

P14 仁泉会福井県支部だより

P15 報告 京都仁泉会学術講演会

平成 29 年 2 月 4 日 於：京都ホテルオークラ

P17 平成 28 年度仁泉会大阪府連新年 懇親会報告

P18 仁泉会大阪市北区支部総会並びに懇親会の報告

P19 仁泉会奈良県支部

P20 第 30 回大阪医大女医会各科医療勉強会のご案内

P21 平成 28 年度和歌山県支部総会の報告

平成 28 年 11 月 12 日（土）於 ホテルアパローム和歌山

P23 平成 28 年度仁泉会香川県支部総会のご報告

平成 28 年 3 月 25 日（土）於 高松市 ALICE in Takamatsu

P24 第 2 回『新三水会』のご案内

P25 平成 29 年仁泉会高知県支部総会・新年会報告

P26 S58 同窓会開催のご案内

仁泉ひろば

P27 大阪医大六甲会

P28 受賞報告

P29 気になるあの場所・あの人に編集部がジャストミート

関西初！ マックシール巽病院が国際医療評価機構

「JCI」から世界基準としての認定を関西初取得！

国際基準審査のメリットをお聞きました

P33 これが私の住むとこ働くとことここ記&新聞・冊子切抜
冊子切抜

P36 松岡伸二先生（学 19 期）

P37 石上義樹先生（学 20 期）

P38 白岩俊彦先生（学 48 期）

P40 石黒まや先生（学 60 期）

P41 勝谷友宏先生（特別会員）

新聞切抜

P42 茂松茂人先生（学 27 期）

P43 酒谷 薫先生（学 30 期）

会員著書

P44 井尻慎一郎先生（学 31 期）

P45 西野精治先生（学 31 期）

P46 まんが 第 25 回スペシャル・拡大版

P48 エッセイ「歴史を彩った女性達（5）」

P50 リレーエッセイ

P51 会員計報

P53 編集後記

大阪医科大学学長 大槻勝紀

大阪医科大学 仁泉会理事長 河野公一

大阪医科大学医学部長 大槻勝紀

酒谷 薫（学 30 期）

原 隆（学 47 期）

寺村和久（学 37 期）

佐藤公彦（学 12 期）

末澤慶昭（学 19 期）

山下正人（学 31 期）

湯川裕史（学 29 期）

安賀文俊（学 51 期）

枝重恭一（学 26 期）

黒川晃夫（学 43 期）

大西洋一郎（学 25 期）

桐村泰廣（学 34 期）

安藤嗣彦（学 20 期）

永田昌敬（学 30 期）

君の名は。ほん太むら（学 31 期）

西村 保（学 4 期）

鉄村信治（学 44 期）

平成 29 年 評議員会及び総会 招集のご案内

平成 29 年の仁泉会定期総会及び評議員会を下記の要領にて開催致します。出欠をお手数ですが同封の総会ハガキ（兼委任状）にて必ずご返信ください。

総会終了後には恒例の総懇親会も開催致します。多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

理事長 河野公一

日 時：平成 29 年 5 月 28 日（日）

午後 2 時 30 分より定期評議員会

午後 3 時より定期総会

午後 5 時より懇親会

会 場：神戸ポートピアホテル

定期評議員会・定期総会 地下 1 階「布引北」

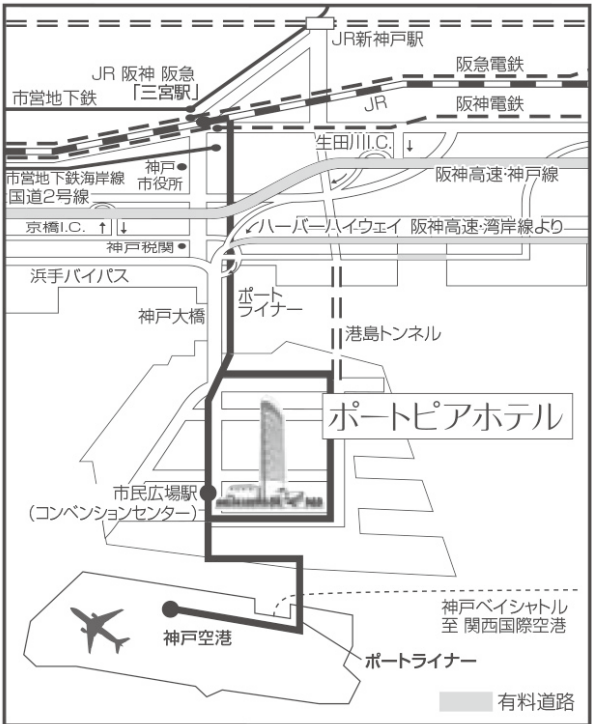
懇親会 地下 1 階「生田」

【アクセス】

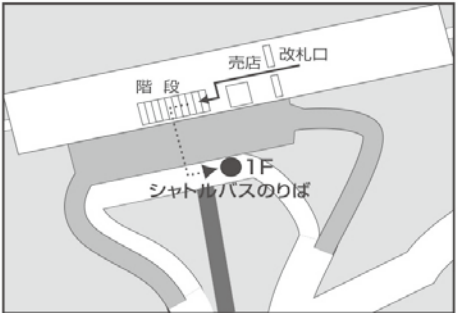
神戸ポートライナー「市民広場駅」下車 徒歩 3 分

新神戸駅・JR 三ノ宮駅からシャトルバスにて約 25 分（1 時間 3 本）

神戸ポートピアホテルご案内地図



シャトルバスのりば〈新神戸駅〉



〈JR三ノ宮駅（南）〉



●お車でのご来場はご遠慮ください

定期評議員会次第

1. 次期評議員について
2. その他

定期総会次第

1. 開会の辞

2. 物故会員に対する黙祷

3. 理事長挨拶

4. ご来賓挨拶

5. 仮議長指名

6. 議長選任

7. 議事録署名者選出

8. 報告事項

①平成28年度事業報告

②平成29年度事業計画について

③平成29年度予算案について

④合同懇談会報告

9. 議案

①平成28年度決算案承認を求める件

監査報告

②定款改正の件

・学生会員の設置に伴う改正

・役員定数変更に伴う改正

③次期大学4号評議員候補者について承認を求める件

④役員改選の件

⑤その他

10. その他

11. 閉会の辞

平成28年度 仁泉会事業計画（案）

【公益目的事業】

1. 学術振興研究援助事業

学術振興及び研究発展の為に、医学会及び研究会に対して助成を行う。

2. 奨学金貸与事業

良医の育成を目的とした、医学部学生に対して奨学金の貸与を行う。

【一般事業】

3. 仁泉会本部諸事業

- 1) 大阪医科大学への後援
- ① 母校90周年募金事業活動へ協力し、母校の発展向上に寄与する。

- ② 平成29年度卒業生の内、優秀な者に対し、理事会の議を経て、仁泉会理事長賞を授与する。
- ③ 学生の諸活動への援助を行う。
- ④ 母校の発展向上に寄与する為の支援・協力活動を推進する。
- ⑤ 母校執行部、教職員並びに学友会との連携をはかる。
- ⑥ 母校国家試験対策事業への援助を行う。

- 2) 会員の福利厚生への支援
- ① 会員の動向把握を行い、会員慶弔時における福利厚生につとめる。
- ② 会員相互の親睦交流を深める為の活動支援を行う。

- 3) 仁泉会組織強化に関する事業
- ① 支部組織強化の為の活動への支援。
- ② 会員で構成される団体への支援。
- ③ 会費納入の理解協力を求め、納入率向上の為の広報活動を行う。
- ④ 地区合同懇談会を開催し、組織率向上を目指す。
- ⑤ 会費口座引落の利用を推奨する。
- 5) 広報事業
- ① 機関紙「仁泉会ニュース」の定期発行（学術機関誌としての内容充実）。
- ② 電子化広報の充実拡充（仁泉会ホームページ及びフェイスブックの更新）。
- 7) 定款改正について
- 定款の改正案を作成し総会に提出する。

- 4) 全国私立医大同窓会との連携
- 全国私立医大同窓会連絡会に参加し、私立医科大学同窓会相互の連携と情報共有を深め本会の発展向上を図る。
4. その他法人の目的達成に必要な事業
- 以上

平成 29 年度基金会計収支予算書（案） 【従来様式】					
（自平成29年4月1日～至平成30年3月31日）（単位 円）					
	科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部	1. 基金運用収入	5,300,000	5,700,000	△ 400,000	
	①基金利子	100,000	100,000	0	基金運用利息
	②返還金	5,200,000	5,600,000	△ 400,000	奨学金返済
	2. 寄 付 金	10,000	10,000	0	
	3. 雑 収 入	10,000	10,000	0	普通預金利息
	当期収入（A）	5,320,000	5,720,000	△ 400,000	
	前期繰越額	18,000,000	13,902,995	4,907,005	
合計（B）		23,320,000	18,812,995	4,507,005	
支出の部	1. 事 業 費	4,400,000	4,400,000	0	
	①研究助成費	100,000	100,000	0	
	②研究奨励費	100,000	100,000	0	
	③奨 学 費	4,200,000	4,200,000	0	7 名程度
	2. 雑費	20,000	20,000	0	口座引落手数料
	3. 繰 出 金	2,000,000	2,000,000	0	
	4. 予 備 費	11,922,995	12,392,995	△ 400,000	
	当期支出（C）	23,320,000	18,812,995	4,507,005	
	収支差額（A）－（C）	△18,000,000	△13,092,995	△ 4,907,005	
次期繰越（B）－（C）		－	－	－	

平成 29 年度一般会計収支予算書（案）
【従来様式】

（自平成29年 4 月 1 日～至平成30年 3 月31日）（単位 円）

	科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部					
	1.入 会 金	1,000,000	1,000,000	0	
	2.会 費	25,000,000	25,000,000	0	
	3.寄 付 金	10,000	10,000	0	-
	4.雑 収 入	2,000,000	2,000,000	0	広告 / 預金利子等
	5.編 入 金	2,000,000	2,000,000	0	
	当期収入（A）	30,010,000	30,010,000	0	
	前期繰越額	10,000,000	10,911,246	4,088,754	
合計（B）		45,010,000	40,921,246	4,088,754	
支出の部					
	1.事 業 費	13,800,000	19,800,000	△ 6,000,000	
	①会 報 費	10,000,000	10,000,000	0	会報誌発行 / 発送
	②学 術 費	1,500,000	1,000,000	500,000	学会支援
	③学生後援費	1,000,000	1,000,000	0	学園祭支援等
	④記念事業費	200,000	200,000	0	卒業記念品作成
	⑤福利厚生費	100,000	100,000	0	
	⑥慶 弔 費	800,000	800,000	0	供花料
	⑦国家試験対策費	200,000	200,000	0	
	⑧名簿作成費	0	6,500,000	△ 6,500,000	予算科目より削除
	2.会 議 費	2,500,000	2,500,000	0	総会 / 合同支部会 / 理事会他
	3.管 理 費	14,450,000	14,200,000	250,000	
	①給 料 手 当	7,000,000	7,000,000	0	事務員 3 名
	②旅 費	1,000,000	1,000,000	0	理事会、支部会出席他
	③通 信 費	500,000	300,000	200,000	切手・電話・電報料
	④備 品 費	200,000	200,000	0	
	⑤消 耗 品 費	450,000	450,000	0	
	⑥会費徴収費	350,000	350,000	0	
	⑦社会保険料	850,000	800,000	50,000	
	⑧交 際 費	500,000	500,000	0	支部会賛助金他
	⑨諸 謝 料	1,300,000	1,300,000	0	監査・弁護士顧問料
	⑩雑 費	500,000	500,000	0	
	⑪事務局費	600,000	600,000	0	事務室賃借料
	⑫租税公課	1,200,000	1,200,000	0	消費税他
	⑬積立金	400,000	400,000	0	
	4.予 備 費	8,860,000	4,021,246	9,838,754	
	当期支出（C）	45,010,000	40,921,246	4,088,754	
	収支差額（A）－（C）	△15,000,000	△ 10,911,246	△ 4,088,754	
次期繰越（B）－（C）		－	－	－	

（注） 1.借入金限度額 0 円
2.債務負担額 0 円

定款改正について

【1. 学生会員設置に伴う改正】

＜現定款＞

第 5 条 この法人は、大阪高等医学専門学校及び大阪医科大学の卒業生並びに大阪医科大学（以下、「本学」という。）に在職する教員、本学において研究その他の目的で在職した者及び本学において学位を授与された者で、この法人の目的及び事業に賛同したものをもって会員とする。

2 前項の会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

＜改正案＞

第 5 条 この法人は、以下に掲げる者で、この法人の目的及び事業に賛同したものをもって会員とする。なお、（1）（2）の会員を「正会員」、（3）の会員を「学生会員」という。

（1）大阪高等医学専門学校及び大阪医科大学（以下、「本学」という。）の卒業生

（2）本学に在職する教員、本学において研究その他の目的で在職した者及び本学において学位を授与された者

（3）本学の医学部学生

2 前項の正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

※第 3 章会員及び客員（1 0 条の 1 項）及び第 4 章社員総会（1 5 条～2 2 条）の「会員」をすべて「正会員」に修正（ただし、1 6 条（3）、2 0 条（1）に定める「会員の除名」の「会員」はそのままとする。）

【2. 役員定数、副理事長定数変更に伴う改正】

＜現定款＞

第 23 条 この法人に、次の役員を置く。

理事 10 名以上 19 名以内

監事 2 名以上 3 名以内

2 理事のうち 1 名を理事長、2 名以内を副理事長、6 名を常任理事とする。

3 前項の理事長をもって法人法上の代表理事とし、副理事長及び常任理事をもって同法第 91 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。

＜改正案＞

第 23 条 この法人に、次の役員を置く。

理事 10 名以上 25 名以内

監事 2 名以上 3 名以内

2 理事のうち 1 名を理事長、3 名以内を副理事長、6 名を常任理事とする。

3 前項の理事長をもって法人法上の代表理事とし、副理事長及び常任理事をもって同法第 91 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。

※平成 29 年度役員選任において、
上記 2 の役員定数、副理事長数変更に伴う
定款改正案のご承認を頂いた場合は
新定款の定数をもって役員改選を行います。

祝・卒業

平成 28 年度

卒業証書・学位記授与式

今年の卒業式・学位記授与式は平成 29 年 3 月 9 日（木）12 時より高槻現代劇場大ホールにて行われました。

まず、第 1 部として 66 期の医学部 119 名と学部 4 期生となる看護学部 93 名の合同卒業式が行われました。学長の告辞に続き、来賓代表の祝辞、在校生送辞、卒業生答辞が述べられ、学長賞の褒賞授与が行われました。

第 2 部の学位記授与式は各学部に分かれて執り行われ、医学部長が卒業生全員に卒業証書を饒の言葉とともに手渡し、式辞を述べられました。その後、医学教育センター長・医学学生生活支援センター長賞及び仁泉会理事長賞の表彰、仁泉会河野理事長の祝辞、恒例のスライドショーが行われ、滞りなく第 66 回卒業式が終了しました。

尚、今年の仁泉会理事長賞は児玉昂己さんが受賞されました。

以下にご挨拶要旨を掲載します。

学長告辞

大阪医科大学学長 大槻勝紀

大阪医科大学医学部医学科第 66 期生 119 名並びに看護学部看護学科第 4 期生 93 名の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。またご臨席賜りました保護者の皆様、心よりご子息、ご令嬢のご卒業をお喜び申し上げます。大学にとりまして、卒業式は学位記を授与し、卒業生がそれを抛り所に、実社会に船出する大切な学事であります。

本日は大阪薬科大学 学長 政田幹夫先生、高槻中学・高等学校校長 岩井 一先生、仁泉会会長 河野公一先生をはじめ、ご列席いただいています御来賓の各位に教職員並びに卒業生を代表いたしまして、厚くお礼申し上げます。

また中山国際医学医療交流センターを介して、現在本学で研修中のシンガポール国立大学、韓国カソリック大学、国立台湾大学の皆様をご紹介します。いただきます。

Now, I would like to introduce you our gest students from National University of Singapore, Miss Han Xin Yi, Miss Yap Xian Lynn, from Catholic University of Korea, Mr. Lee Jung Jun and Mr. Han Yang Jun, and from National Taiwan

University, Mr. Mao Yi-Ning. Thank you for your attendance at our graduation ceremony of Osaka Medical College on this memorable day.

医学部においては 6 年間、看護学部においては 4 年間、本学で多くの事を学ぶとともに将来に渡る友人を得たことと思います。今後は社会に貢献する医療人として、あるいは大学に残り、研究者としてご活躍されることと思います。諸君はこれまでクラブ活動や自学自習などで学生生活を enjoy されてこられました。医師、看護師等の国家試験に合格し免許証の交付を受けたときから社会人と見なされます。医師、看護師としてブランドのある職に就きますと、弱者である患者さんから「先生」「看護師さん」と呼ばれ尊敬される反面、傲慢な態度をとったり、十分なインフォームド Consent がなされないと患者さんとのコミュニケーションが取れなくなります。「人間」という漢字の持つ意味はご存知のように「人」という漢字は互いに支え合い、「間」は人との間（コミュニケーション）が大切だということを意味しています。また卒業生の中には医療人だけでなく大学や研究機関で教員の職に就く方もおられるかもしれません。近年、特に論文のねつ造や公的研究費の不正使用など研究者のモラルの低下が叫ばれています。本学はこれまで教育や研究面で社会問題を引き起こすようなことはあまりありませんでした。多分、

本学の建学の精神が学歌として歌われ、いつしか節度ある「自由な学風」が本学で育まれてきたことによるかも知れません。初代理事長の吉津度は建学の精神として「医育機関の使命は医学教育と医学研究であり、またその研究は実地の医療に活かすことで完成する。」と唱え、当時の移民団への医師派遣を目的として本学を設立しました。学歌の第 5 節に南溟の空遠く、アマゾンの岸の花、崑崙か、ゴビの原などと謳われ、今でいう国際化を目指した大学でもありました。また学是「至誠仁術」は誠実な心を持った医療人の育成を目的として制定されました。至誠とは孟子の「至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり」に由来しています。昨年 7 月 29～30 日にかけて第 48 回日本医学教育学会が本学で開催されました。名誉会長講演で日野原重明先生から「再びオスラー博士に学ぶ」と題して講演して頂きました。「患者さんの話に耳を傾け、患者さんに寄り添い患者さんから学ぶ姿勢が大切である」という一節をお聞きし、我々医療人は現在忘れかけていた医療の本質について考え恥じらうとともに、日野原先生のお話に感銘を受けました。卒業生諸君が医療人として他者を思いやり自己犠牲を惜しまず誠実に生きていく医療人になっていただければと願う次第です。

本学の教育の特徴として「医看融合教育」が挙げられます。新入生合同学外合宿、医療人マインドなどのゼミ、医看融合カンファレンスなどがあります。それぞれ異なった立場で医療を考え、相互理解を深めるいい機会になったと思います。しかし医療は医師と看護師だけでなりたっているわけではありません。昨年 8 月に一部の医学部、看護学部と大阪薬科大学薬学部の学生が高知県嶺北中央病院で地域医療実習を行いました。そこでのカンファレンスには医師、看護師、保健師、ケースワーカーやケアマネジャーなど多職種の方々事例を通して連携を図っていることを経験されました。これからの医療を考えたとき、医師、看護師、技師、事務職員などが与えられた職務を個として行うだけでなく、多職種の方と連携を取り合ってチーム医療を行なうことが重要です。

もちろん多職種の方との連携だけではだめで、「個の力」をつければ社会に貢献できる医療人とは言えません。しかし一生懸命努力しても必ずどこか

で壁におち当たります。どの様にしてその壁を乗り越えていけばいいのでしょうか。卒業生諸君は宮沢賢治の文学作品、例えば手記「雨ニモマケズ」や童話「銀河鉄道の夜」や「風の又三郎」などを読んだことがあるかもしれませんね。何故、大人になっても彼の童話が読み続けられるのでしょうか。それは彼の童話に人生観や哲学があるからです。彼は岩手県花巻市の生まれで、花巻の星空や岩木山などの自然をよく童話の題材にしています。小岩井農場から岩木山を眺めますと、賢治ワールド「イーハトーヴの世界」が広がってきます。彼は文学者だけでなく、ニュートン力学の信望者であり、天文学、宗教学、農学に造詣が深く、「自然と共生し、自然から学ぶ」ことを信条としていました。「壁を乗り越えるためのヒント」が賢治の童話「セロ弾きのゴーシュ」にあります。セロとは楽器のチェロのことです。主人公のゴーシュはチェロの演奏が下手でいつも楽団の団長に怒られてばかりでしたが、何が下手なのかわかりませんでした。そんなゴーシュの下に、三毛猫が現れて生意気な態度をとったので追い返すために必死で「印度の虎狩」の曲を弾き続けました。次に現れたのはカッコーで「ドレミファの音階」を教えて欲しいと言ってきたので、楽団員としてのプライドを傷つけられましたが、カッコーに繰り返し教えているうちに自分の音階が少し狂っていることに気が付きました。その後、小狸が来て小太鼓とチェロのリズム合わせをしようと言われ、その内にゴーシュ自身がリズムの悪さに気付きました。最後に野ネズミの母親が、「ゴーシュの演奏を病気の子供に聴かせてくれ。」と頼まれたので気持ちを込めて演奏すると、子供の病が治りました。彼の欠点が練習不足、音階、リズムや感情表現の「つたなさ」にあったことを悟り、チェロの演奏が上手になったという話です。臨床や研究の道を歩む諸君にとっても、諸君の目の前の壁をどうすれば超えられるのか、それはこの童話のように一見何の関係もないと思われていた事でも一生懸命やり遂げている間にいつしか点が繋がり線となり、ゴールが見えてくるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、西郷隆盛が愛した座右の銘「敬天愛人」を諸君の卒業の門出として贈ります。「天を敬い、人を愛す」という意味ですが、医療人に置き換えますと、「人それぞれ定められた運命と

いうものがあります。医師、看護師、保健師、助産師、研究者や教育者として進むべき道は異なるかもしれませんが、患者さん、同僚、学生などすべての関わりのある人を愛しむことにより、進むべき道が開かれる」と言えます。本学の建学の精神に則り、国際的視野を持ち、社会に貢献できる医療人として将来の医療を支えてくれることを祈念して、学長の告辞と致します。

祝辞

一般社団法人大阪医科大学 仁泉会理事長 大阪医科大学名誉教授 河野公一

第 66 期医学部の皆様本日はご卒業まことにおめでとうございます。また本日ご臨席いただいております、ご両親をはじめご家族の皆様には感慨ひとしおのことと存じます。心からお慶び申し上げます。さらに本日まで卒業生の皆様をご指導され、薫陶を賜りました本学教職員並びに関係各位に対しまして、お祝いとともに厚く御礼申し上げます。

医学部卒業生の皆様は本日から、大阪医科大学仁泉会（すなわち同窓会）会員であります。本法人は 1927 年創立の大阪高等医学専門学校及び大阪医科大学卒業生で構成され医学部 66 期の皆様 119 名を新たに加えますと 9,356 名を数えます。

仁泉会の活動は会員の福利厚生を主たる目的として、情報共有のための定期的な会員名簿や会報の発行、同期会や全国・海外での支部会開催の援助、本学医学部学生への奨学金貸与、学園祭や西医体への支援、本学教員をはじめ仁泉会員が主催する国際学会や全国的な学会への助成など様々な分野に及んでいます。

卒業生の皆様にはぜひその趣旨をご理解いただき、将来にわたり仁泉会の活動を支援してください。

さて卒業生の皆様は、今日から大阪医科大学で学んだ医学における知識をベースに更なる研修を経て、医療、教育・研究の道を歩まれることとなりますが、その目標はただ一点にあります。それは「生の尊厳」であります。私の尊敬する先人の一人ウィリアム・オスラー博士（彼は米国ペンシルバニア大

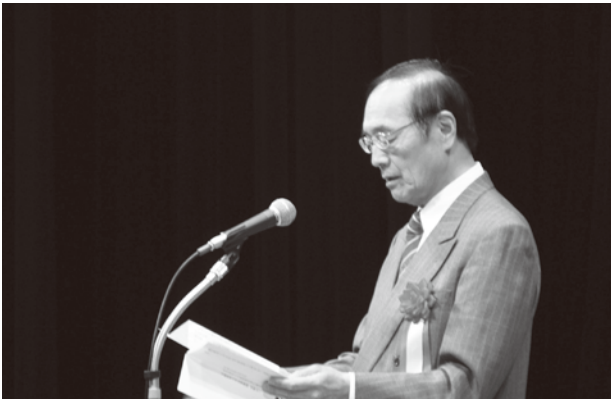


学を隆盛に導き、ジョンズ・ホプキンス大学医学部の礎を築いた人ですが）は患者を自身の家族と同じように心から愛し、大切にする、「人道主義の心」を医学の中に導入した最初の医師であります。

また私が敬愛する恩師の一人であり、留学先の英国ロンドン大学公衆衛生大学院長で産業医学研究所長のリチャード・シリング教授の言葉「職業病はすべて環境要因のなせる業であり、故に予防に勝る治療はない」が私のその後の進むべき道を決定づけたといっても過言ではありません。

卒業生の皆様がこれから進まれる道は多様であり、それぞれ場で積まれる経験や知識が新たな医学の進歩に、またこれら先人の説く「生の尊厳」につながるものと信じています。

あらためまして、卒業生の皆様の前途を祝福しますとともに、ご家族の弥栄（いやさか）をご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



医学部長式辞

大阪医科大学医学部長 大槻勝紀

平成 28 年度医学部医学科第 66 期生の卒業生ならびに保護者の皆様、医学部長として改めてご卒業をお祝い申し上げます。学長兼医学部長に就任して最初の仕事为本学の「建学の精神」や学是「至誠仁術」を法人と共に制定し、HP や学報などで学生を含めた本学のすべてのステークホルダーに周知してもらうことでした。何故なら文科省から「高大接続」を実現させるためにすべての大学に対して三つのポリシー（ディプロマ、カリキュラム、アドミッションポリシー）を本年 4 月 1 日までに公表することが求められたからです。特に私学においては、建学の精神なくして 3 つのポリシーを作ることはできません。学是「至誠仁術」の「至誠」とは孟子の「至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり」からきており、その意味は「至誠（真心）をもって動かし得ないものはこの世に今までなかった。誠はすべての根本となるものである。」という意味です。「仁術」は、本学初代理事長で衆議院議員であった吉津度先生の座右の銘の「救世仁術」に由来します。先程の学長告辞でもお話しましたように吉津度先生は建学の精神として「医育機関の使命は医学教育と医学研究であり、またその研究は実地の医療に活かすことで完成する。」と唱えられました。また本学が創立された昭和 2 年は昭和の大恐慌の最中で、中国、ハワイ、ブラジルなどへ移民団が結成された時期でもありました。当時、移民団での医師不足が社会問題となり、衆議院議員であった吉津度先生は現在の京阪電鉄株式会社から財政援助を受けて、本学が設立されました。学歌の第 5 節に移民団への医師派遣の想いが込められています。今でいう国際医療活動を目指した大学であったと言えるかも知れません。そのため学是「至誠仁術」には「誠実」「医学教育」「医学研究」「実地医療」「国際化」といった 5 つのキーワードが含まれていることを卒業される諸君に知って頂きたいと思います。

さて「大学のブランド力」とは何でしょうか。様々な雑誌に「教育力」「研究力」「財務力」「就職率」「国際化」等を数値化して大学のブランド力がランキングされています。学長として「教育」「研究」「就職率」「国際化」に注力して大学のブランド力を高め、諸

君が卒業後も出身校として胸を張れるような大学にしていきたいと思います。

今年の 6 年生は 121 名のうち 119 名の諸君が卒業されます。幾つかの医学部においては予備校化し、留年させて国試合格率を上げようとしている中、本学は「自由な学風」の下、諸君はよく遊びよく学ばれたことと思います。学長の本音として今年卒業試験の成績が悪ければ 2 ケタの留年者が出るかもしれないと内心心配していました。その不安をもの見事に諸君はいい意味で裏切ってくれました。すでに国試も終わり結果を待つのみですが朗報を期待しています。しかし今年为国家試験では必修問題が難しかったようです。少し心配ですが私は諸君の頑張りを信じています。

諸君の多くは臨床医として医療に携わっていくと思いますが、中には私のように大学や研究機関に残り、医学研究を続ける方もいると思います。野口英世の話をしますと、彼は梅毒スベロヘータや黄熱病の研究で過去 3 度ノーベル賞にノミネートされました。彼は福島県猪苗代湖の近くで生まれ、1 歳の時に左手に大火傷を負い、その後手術を受け成功したことから医学の道を歩むことになった話はご存知のことと思います。私は猪苗代湖を訪れる度に、野口英世記念館を訪問しますが、記念館には当時の生家がそのまま移築されています。またそこには野口英世が残した名言集が飾られていました。そのうちの幾つかを紹介したいと思います。

「努力だ、勉強だ、それが天才だ。」

「誰よりも、3 倍、4 倍、5 倍勉強する者、それが天才だ。」

「ナポレオンは夜 3 時間しか眠らなかった。彼になしえられる努力が、自分になしえられぬはずがない。」

実際に、彼は寸暇を惜しんで脳梅毒患者の脳の連続切片標本を顕微鏡観察し、遂に脳組織内に梅毒スピロヘータを発見しました。

僭越ですが私の座右の銘を皆さんは覚えていますか？「死ぬほど勉強して死んだ者はいない。」ですね。努力すれば必ず報われます。必ず誰かが見えますし、評価されます。

昨今、医師や研究者による論文のねつ造問題、公的研究費の不正使用、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなど毎日のように新聞を賑わしています。臨床医、研究者や教育者になる者は、理事

長がよく言われる Staff Self Development(SSD) すなわち自分自身の資質の向上と研鑽に努めていく必要があります。野口英世はロックフェラー研究所に勤めて以来、母のシカに懇願され一度だけ日本に帰国しました。その折、医学生に講義した際、残した言葉に ‘Honesty is the best policy.’ があります。諸君も医療人として誠実に物事に取り組んでいただきたいと思います。

最後に、諸君の卒業をお祝いし、門出の言葉とし

て論語の有名な一節「子 日わく、之を知る者は、之を好む者に如かず、之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」を贈ります。医学研究や医療の実践において知っているだけではアマチュア、好きなだけではセミプロ、趣味のように没頭し楽しめるようになればプロと言えるかもしれません。諸君が研究や診療に対して楽しんで向き合っていける医療人にならんことを祈念して医学部長の式辞といたします。

仁泉会理事長賞 受賞者

児玉昂己さん

おめでとうございます！



支部だより●●●●

東日本支部総会の報告

文責／酒谷 薫（学 30 期）

仁泉会東日本支部の総会及び懇親会が、平成 29 年 2 月 25 日に東京フォーラムの中華料理屋（東天紅）で開催されました。東日本支部は、東京支部を母体に昨年発足した新しい支部ですが、北海道、東北地方、長野県などの甲信越地方や栃木県などの北関東地方をカバーするエリア的には最も大きな支部です。今回は初めての総会ということで、どれぐらいの人数が参加するのか予想が付きませんでした。参加希望の問い合わせが相次ぎ、最終的には青森県、宮城

県、長野県などの会員を含め 29 名もの先生方にご参加いただきました。さらに、仁泉会本部から理事長の河野公一先生、副理事長の内田實先生、安藤嗣彦先生に加えて大阪医科大学学長の大槻勝紀先生にもご出席頂き、盛大な会となりました。

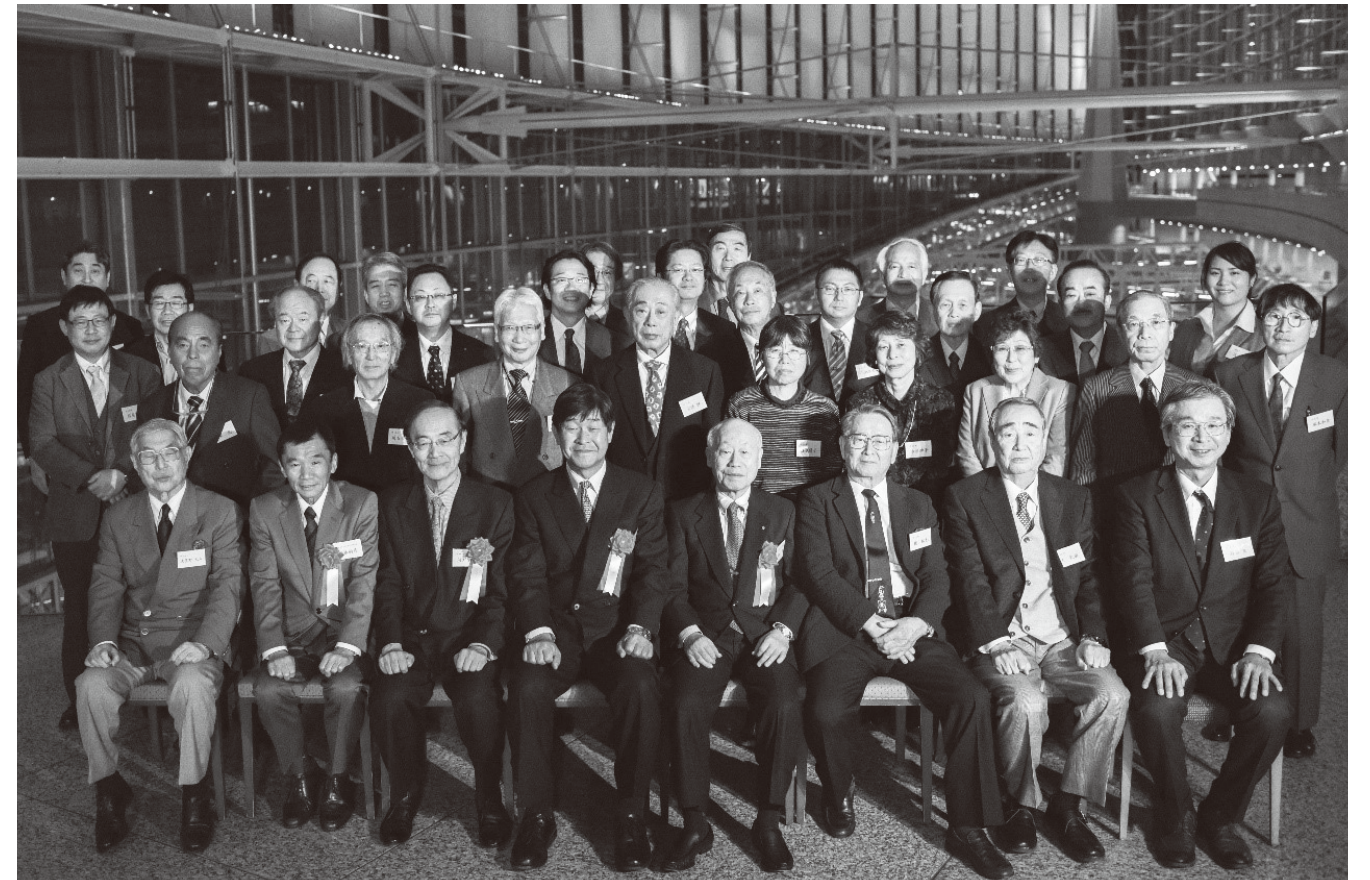
支部総会では、最初に河野先生と大槻先生からお祝辞を賜り、仁泉会本部から東日本支部への賛助金を頂きました。次に、東日本支部の幹事が選出されました。旧東京支部の幹事の野村

和子先生（学16期）、岸田修二先生（学21期）、矢倉道泰先生(学 24 期)、平川賢先生(学 24 期)、岩崎善毅先生(学35期)、井利雅信先生(学37期)を中心に群馬県の高澤信雄先生（学 24 期）、宮城県の塚本和彦先生（学 30 期）が選出されました。今後、幹事は各地方ごとに漸次増やしていく予定です。また、仁泉会本部の理事を増員する構想があり、東日本支部から理事を追加する場合、岩崎善毅先生を候補者とするのが承認されました。その他に、竹政伊知朗先生（学 42 期）が札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座の教授、平野博嗣先生（学 40 期）が東京医科大学・八王子医療センター病理部の教授に就任されたことが報告され、今後、東日本支部に加入して頂くことになりました。その後、大槻学長より大阪医科大学の現状と将来についてのご講演があり、参加者一同、母校の発展を心強く感じていました。

そして、内田先生のお祝辞と安藤嗣彦先生の乾杯の音頭が続いて、いよいよ懇親会が始まりました。これまで会員数が少ないため支部がなかった地方の先生方は、今回の東日本支部で同窓生との交流が芽生えたことを喜んでおられま

した。私も含めて参加者は、同じ釜の飯を食った仲間と酌み交わす酒を大いに楽しみ、各テーブルは笑いに満ち溢れて盛り上がっておりました。

懇親会の終わりには、参加者全員で学歌を斉唱し、大阪高等医専時代の先輩たちの戦場における活躍に思いを馳せ、一本締めで終了しました（上写真）。最後に記念写真を撮影し、次年度の支部会での再会を誓いながら会はお開きとなりました（下写真）。



支部だより●●●

仁泉会福井県支部だより

文責／原 隆（学 47 期）

仁泉会福井県支部総会が平成 28 年 11 月 12 日（土）に開催されました。今回で第 28 回目になります。総会が行われた場所は、福井市にある「開花亭」という料亭です。昨年と同じ場所で、福井県では非常に有名な料亭です。本会は毎年ほぼ 11 月頃の開催となっております。当日は合計 10 名の同窓諸兄姉の参加がありました。尚、当会初参加の先生が 2 名来てくださいました。お 1 人は現在福井赤十字病院外科に勤務されている学 39 期の川上義行先生、もう 1 人は福井総合病院などで勤務されている神経内科の学 47 期の清野智恵子先生です。川上先生は、今年福井大学附属病院第 1 外科教授に就任された五井先生と非常に近い年代で、一緒に学問に励まれたこともあるとのこと。清野先生ですが、私の同期の先生でした。旧姓藤村と聞いた時にはすぐに思い出せる、当時はインパクトのある（元気な）先生でした。

先生方が集まったところで、総会を始めさせていただきました。一昨年の総会から福井県支部の会長、幹事が交代となり、会長は安井多喜雄先生（学 23 期）、幹事は私、原 隆（学 47 期）



左後ろから 原 隆 五井孝憲 片山外一 松本順雄 清野智恵子
左前から 川上義行 西野慎吾 安井多喜雄 青山文子

となっております。まず昨年の収支報告など一般的な報告をさせていただきました。先生方からの積極的な発言などをいただき、とても充実した会になりました。その際、新しい提案をいただきました。今までは、会が今まで預金していたお金から総会の代金を払っていました。それが会の預金額が減ってきたので、次回からは会費をいただいての開催となることとなりました。報告が終わって写真撮影が行われました。

次はいよいよ宴会です。今年も昨年同様解禁になったばかりの越前ガニを盛り込んだ料理コースとさせていただきました。次から次へと出てくる美味しい料理に舌づつみを打ちながら会話も弾み、あっという間に時間が経ってしまいました。来年からも、美味しい料理で予算内で用意させていただきたいと思います。

今年（H29 年）も同時期に開催される予定です。今回参加していただいた先生方はもちろん、次回は新しい福井県在住、在職の先生方の参加も心よりお待ちしております。今後も開催させていただいた折にはご報告させていただきます。なお、当日の参加者は以下の通りです（敬称略）。

西野慎吾（学 11 期） 青山文代（学 21 期）
安井多喜雄（学 23 期）片山外一（学 25 期）
津田明美（学 31 期） 松本順雄（学 34 期）
五井孝憲（学 38 期） 川上義行（学 39 期）
清野智恵子（学 47 期）原 隆（学 47 期）

支部だより●●●

報告 京都仁泉会学術講演会 平成 29 年 2 月 4 日 於：京都ホテルオークラ

文責／寺村和久（学 37 期）

先日、2 月 4 日、京都ホテルオークラにて京都仁泉会学術講演会が開かれました。曾我部俊大会長の開会の辞のあと、松本恒司先生の司会で始まりました。今回は私が座長をと指名を頂き、大阪医科大学医学部医学教育センター・微生物学専門教授 中野隆史先生より、「事例から学ばない?! 原理・原則から学ぶ医療関連感染対策」の御講演を賜りました。以下に、ご講演の要旨をまとめました。

院内感染（病院感染）は、最近では、アメリカ疾病予防管理センター（CDC）の用語として医療関連感染（healthcare-associated infection）とも呼ばれるが、「病院内に感染源が存在し、入院患者や外来患者がそれぞれの原疾患とは別の

あらたな感染症を発症した場合」と定義され、患者の鼻腔内 MRSA が心弁膜症術後に肺炎をきたした場合や、流行性角結膜炎（EKC）に院内で感染し退院後発症した場合も含まれる。院内感染は感染の 3 要素各々に対策を行うことで予防ができる。①感染源対策 ②感染経路対策 ③感受性個体対策。具体的には、①は、隔離、同病者同室（コホーティング）②は、標準予防策、感染経路別予防策③は、逆隔離、ワクチン接種、予防内服。

②感染経路対策に関して

標準予防策（SP、1996 年）の対象を、血液だけでなく湿性生体物質（血液・体液、喀痰、尿、便、膿、損傷皮膚・粘膜）とし、それに感染経路別予防策を加えこの 2 本立てで院内感染防止をはかることとなった。この湿性生体物質には、爪、毛髪、汗、健常な皮膚は含まれない。吐物もこの中には含まれないが、感染源になるのは間違いない。

標準予防策（SP）は、「手洗いに始まり手洗いに終わる」と言われ、衛生的手洗い（hygienic handwashing）、手術時手洗い



出席者名（22 名・敬称略）：蓑和田武次（学 9 期）内田 實（学 12 期） 太田 稔（学 12 期）
勘田紘一（学 15 期）今村喜久子（学 17 期）竹内宏一（学 18 期）岡田豊子（学 21 期）
大藪 博（学 22 期）富岡 嘩（学 22 期）舟木 亮（学 22 期）森本博子（学 24 期）浅田修二（学 25 期）
石原 正（学 25 期）松本恒司（学 26 期）水谷 均（学 26 期）河合尚樹（学 27 期）曾我部俊大（学 27 期）
萩原暢子（学 28 期）岩瀬知行（学 31 期）寺村和久（学 37 期）柏木元実（学 39 期）
講師：中野隆史（学 38）

(surgical handwashing) は、日常的手洗い (social handwashing) と異なり練習しないと習得できない。2002 年発行された CDC/HICPAC 手指衛生ガイドラインでは、手洗いの実効性が問題視され、むしろ「速乾性すり込み式手指消毒剤」の使用が推奨されている。しかし、ウイルスを対象として考えた場合はどうか？という意見もある。

ノロウイルスは現在、細胞培養の方法が確立されていないため、同じカリシウイルス科に属するネコカリシウイルスを代替ウイルスとして評価している。1 個のウイルスを 5-6 分間アルコールにつければ消毒効果はあるようだが、現実的ではなく、流水と石鹸による手洗いが重要となる。ノロウイルスの場合、吐物 1g 中 1 千万から 100 億個存在しており、感染成立に必要なウイルス粒子は 10 から 100 個程度と言われる。しかも吐物中のウイルスは半径 2 メートル飛ぶといわれ、塵埃感染にも注意する必要がある。

感染経路予防策 (transmission-based precautions) には、①接触感染 (contact infection)②飛沫感染 (droplet infection)③飛沫核感染 (droplet-nuclei infection)、空気感染 (airborne infection)、各々に対しての対応が必要となる。ちなみに、①には O157 が、②にはインフルエンザが、③には結核、麻疹、水痘が含まれる。咳エチケットの確実な実行がまず必要である。

血液感染予防策はとりたててやることはない。血液は全て感染性があると考えが必要があり、ゴム手袋をしての採血等が必要。注射針が

手袋を貫通しても刺入される血液量が少なくなるからである。

院内感染は「ゼロ」にはならないが、「感染制御 infection control」という考え方が必要。対策に講じる費用は無尽蔵ではない。コストと有効性とのバランス、持続性のある対策と臨機応変な対応が必要である。

といった内容でした。臨床の現場にすぐに役立つ講演で、しかもわかりやすくお話し頂き、講演終了後は会員の先生方からの質問も多く、予定時間をオーバーする結果となりました。

部屋を移動しての懇親会は、松本恒司先生の司会で宴が始まりました。松本先生のいつもながらの絶妙な司会、今回初めてご参加頂いた若手の先生のお話などもあり、和やかな雰囲気の中本当に楽しく時間が過ぎて行きました。



編集部より

写真募集のお知らせ

誌面を彩るお写真も新たに募集します。季節の風景、お住まいの地域の情緒ある街並みなどをお送りください。なお、掲載時期及び掲載の有無に関してはご一任くださいますようお願い致します。



写真ご投稿 「高槻市民憲章」西村 保先生 (学 4 期)

支部だより●●●

平成 28 年度仁泉会大阪府連 新年懇親会報告

文責／佐藤公彦 (学 12 期)

標記懇親会が平成 28 年度第 4 回理事会に引き続く形で、平成 29 年 2 月 18 日 (土) 午後 5 時から地下鉄本町駅⑦番出口直結の本町ガーデンシティー (セントレジスホテル大阪) B2 階「華都 (シャトー) 飯店」(本店：東京・三田) で開催された。当該飯店のフカヒレスープは姿煮込陶板仕立てと称され、総料理長の杉田公宏氏 (私とは旧知) の至高の一皿と云う事で今回、フカヒレ賞味をメインとして当該飯店別室にて懇親会が開催された。地下鉄では分かり易い場所ですので、皆様には定刻通りご参集頂き、6 人掛け丸テーブル 2 卓で会議は始まった。

当該理事会の主たる協議は、2 年毎に改選される仁泉会本部役員の大阪府連からの推薦人事だった。会議の冒頭、物故会員 (4 先生) に黙祷を捧げるのだが、何れの先生方にも面識があり、ご活躍されていた若き日の面影が偲ばれ、暫しの鎮魂に浸った。

本部理事会報告では、大学からの大学評議員が仁泉会枠は 5 名となった事、そして、3 月末頃のメ切迄に決定される 4 号評議員候補者選出規則第 4 条の決めるによる選考委員会決定案に委ねる事で了承した。次に、府連選出の本部役員推薦の件だが、私事ですが、本年 5 月 28 日 (日) 開催の総会当日が私の満 80 歳の誕生日に当り、平成 15 年度から務めた本部理事を今限りで退任したい旨の申し出を図った所、それに就いては軽く了承された。代わって、本部監事の大西洋一郎先生 (学 25 期) が理事に横滑りされ、

新たに津本清次先生 (学 21 期) が監事に参入される事で了承された。尚、来る 5 月の本部総会では、全国ブロックの活性化を目途とした理事の定数増員並びに副理事長 3 人制が審議されるようだが、それに就いては平成 29 年度以降の協議事項であり見守りたいとして了承された。

次に、本年 5 月 13 日 (土) 開催予定のホテルグランビアにおける平成 29 年度支部長会の次第に就いては、昨年度の次第を略々踏襲し、役割分担も同じ顔触れで進める事で了承された。また、府連会費の集金パワーアップを図る施策として、支部長を補佐する形で各個撃破の形になるが、府連の意図を事務局から直接、ご連絡やらご請求やらをさせて頂きたい旨の提案を上程する組織活性化案が了承された。従って、5 月 13 日 (土) の当日は午後 4 時半の支部長会スタートとし、その前に午後 3 時から予算決算等と合わせて、詰めの理事会を開催する事となった。尚、個人情報に厳しい折柄、府連名簿の新発行は先般来、5 年振に配布されている全会員名簿の活用で対応する事で了承された。

懇親会はフカヒレスープ、麻婆豆腐等の美味しさを賞味しながら和気藹藹に懇談は続き、盛会裏に閉会となった。

出席者 (敬称略)

佐藤公彦 (学 12 期、東大阪、会長)

大西洋一郎 (学 25 期、東大阪・北区大淀、副会長)

霜野良一 (学 28 期、住吉住之江区、副会長)

革島康雄 (学 20 期、淀川区、理事)

津本清次 (学 21 期、東淀川区、理事)

中 透 (学 25 期、泉大津、理事)

村木宏要 (学 27 期、堺、理事)

大植 陸 (学 40 期、岸和田、理事)

塘 二郎 (学 6 期、天王寺区、顧問)

支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636 e-mail / jimu@jinsenkai.net

支部だより●●●

仁泉会大阪市北区支部総会並びに懇親会の報告

文責／末澤慶昭（学19期）

平成 29 年 2 月 25 日（土）大阪東急 REI（旧大阪東急イン）にて支部総会と懇親会が開催されました。

出席者 13 名で例年になく少人数での会合となりました。当日急用で 2 名、また頂戴しました欠席される先生方（45 名）の通信欄のなかには業務上の理由が欠席の原因であることがわかり、年齢と共に重要なポストにつかれ地域医療に貢献されておられることが把握できました。

北区支部では同区内での開業、元開業、勤務医、元勤務医、自宅がある先生方計 133 名全員にお声をかけております。

18 時 00 分、太田祥彦先生（学 38 期）の開会の挨拶で支部総会が開催されました。仁泉会からは大西洋一郎府連副会長（学 25 期）の御出席を頂き、御挨拶と金一封を頂きました。会計報告に続いて黒川彰夫先生（学 20 期）の乾杯の御発声で懇親会の開宴となりました。

1 年ぶりに顔を合わせた仲間達は各々のテーブル毎に、またテーブルを移動して話し込み情報交換し、あっという間の 2 時間でした。

来年の再会を約束し、記念写真撮影のあと、三々五々の散会となりました。



参加者（敬称略）

後列左から 高木雄久（学 39 期）太田祥彦（学 38 期）藤平隆宏（学 44 期）大原裕彦（学 31 期）忌部 実（学 25 期）恩地浩之（学 40 期）本出 肇（学 34 期）片岡晃哉（学 26 期）中根英策（学 48 期）
前列左から 古川光一（学 21 期）末澤慶昭（学 19 期）千福恵子（学 32 期）大西洋一郎（学 25 期）黒川彰夫（学 20 期）

支部だより●●●

仁泉会奈良県支部

文責／仁泉会奈良県支部庶務担当 山下正人（学 31 期）

去る 2016 年 8 月 7 日（日曜日）、奈良公園内の猿沢池畔にある「飛鳥荘」において、仁泉会奈良県支部総会（第 44 回）を開催致しました。

昨年度から庶務・会計が新メンバーとなり、これまで慣例としてきたことをいくつか変更し、実行に移しました。ことに、奈良県支部の会計事情が徐々に逼迫してきたことから、仁泉会本部事務局の最新の名簿をいただき、住所や勤務先のデータから、奈良県内で仕事をされている会員の発掘（誘いかけ）をはかりました。さらに、年会費を納めていただけていない方々へのアピールを込め、振り込みに伴う煩わしさを少しでも軽減できるように少し工夫致しまし

た。その結果、昨年度の収支バランスの改善と繰越金の V 字回復が達成でき、当支部総会での報告の時には拍手をいただきました！

恒例の特別講演には、母校一般・消化器外科学教授の内山和久先生（学 32 期）をお迎え致しました。先生は 2016 年 4 月 1 日に病院長に就任され、新手術棟を含む新病棟の竣工という、まさに超多忙の中で御来寧して頂き、しかも、講演会後の懇親会にも御出席を賜り、有り難く思いました。

元一般消化器外科助教授の山田眞一先生（医療法人善真会 山田胃腸科・肛門科院長：奈良市）に座長をしていただき、「肝切除術の新しい展開」というテーマで御講演を賜りました。

はじめに、新しく利用が始まった新病棟（中央手術棟：6 階建）や今後の計画（現在の 5 号館と臨床講堂棟を 12 階建に建て替える：5 年後）などからお話しが始まりました。

そして、本題の一般消化器外科の手術に話が進みましたが、内山先生が卒業された 1983 年



最後列左から 尾崎誠重（学 43 期）阿部洋介（学 48 期）辻本達寛（学 42 期）橋本恵介（学 42 期）河原邦彦（学 45 期）近藤圭策（学 45 期）石崎英介（学 45 期）桶田正成（学 34 期）
3 列目左から 枝川 右（学 56 期）出口 潤（学 37 期）山田全啓（学 30 期）山田眞一（学 22 期）辻口比登美（学 33 期）赤羽たけみ（学 39 期）古家美幸（学 45 期）山下正人（学 31 期）
2 列目左から 松村典彦（学 34 期）鎌田勝三郎（学 41 期）松浦泰彦（学 32 期）久保光彦（学 24 期）奥田隆章（学 24 期）久保史生（学 20 期）森 志郎（学 16 期）松尾隆広（学 39 期）平尾容子（学 46 期）
前列左から 山本保範（学 27 期）石崎雅子（学 14 期）尾崎仁一（学 13 期）西浦孝彦（学 13 期）内山和久（招聘講師：学 32 期）小延知暉（学 1 期）杉原洋一（学 12 期）柊岡 進（学 8 期）

の同科の年間手術件数が 600 件であったものが、昨年は 1300 件に倍増している・・・という実績から始まる、いくつもの驚きが繰り返し呈示されました。

肝臓癌は治る病気であるという時代に入ったこと、早期発見と手術方法・術式に術前画像診断が欠かせないこと、dynamic CT / dynamic MRI / 造影超音波検査およびこれらデータから三次元的に腫瘍イメージを作り出す、あるいは手術中に ICG・ δ -ALA などの物質を用いて癌細胞あるいはその周囲組織への取り込みの有無を蛍光あるいは赤外光下に検出できることを応用した 3-D 画像ナビゲーションシステムをパナソニックと共同開発して成果を上げていること、さらに開腹手術と腹腔鏡手術がほぼ半々であること、また、術後もドレーンなし・抗生剤無し（術中に 1 回のみ）・術後 10 日あまりで退院・・・など、まさに「目からウロコ」状況でした。

もっとも、これらの詳細は、母校ホームページから一般・消化器外科⇒肝・胆・脾に進んで頂きますと詳細に説明されておりますのでどうぞ御覧下さい：門外漢の私のレベルではこれ以上述べることはできません。

この御講演を踏まえ、次回と同窓会のメニューに、母校の新病棟を見学し、5 年以内に解体され新病棟に建て替えられる臨床講堂・5 号館などを歩き、さらにかのウィリアム・メレル・ヴォーリズ設計の有形文化財「大阪医科大学歴史資料館」にも足を運び、学生時代にタイムスリップする企画も悪くは無いなあと思いました（ただし、土・日・祝日は休館ですが・・・）。

今回は 34 名の出席を得ておりますが、次の仁泉会奈良支部総会も、今回以上の方々の参集を得た盛会となるよう準備して参ります。よろしく願い申し上げます。

第30回 大阪医大女医会 各科医療勉強会のご案内

大阪医大ご卒業の女性医師の先生方におかれましては、お元気にご活躍のことと存じます。さて、平成 29 年度の大阪医大女医会 各科医療勉強会のご案内を申し上げます。今回は学 28 期の萩原暢子先生が「若者の性感染症の現状について」と題してご講演下さいます。最新の婦人科疾患についての情報を得て、また世代の違う先生方と交流する良い機会でございます。是非ともご参加下さいませ。

尚、發送予算の都合上、学 37 期以降の先生方には案内状をお送り出来ませんので、参加ご希望の先生方は当日ご連絡がつく携帯電話かメールアドレスをご記入の上、下記の連絡先までお知らせ下さい。

記

日時：平成 29 年 6 月 24 日（土） 午後 5 時 30 分より

場所：ホテルグランヴィア大阪 20 階 「名庭の間」

会費：15,000 円

担当幹事 学 33 期 田中啓子 大森敦子 学 36 期 祐森弘子

連絡先：大森敦子宛 メールアドレス 30kaijoikai@gmail.com

電話：072-682-6166（仁泉会事務局）

FAX：072-682-6636（仁泉会事務局）

支部だより●●●

**平成 28 年度
仁泉会和歌山県支部総会の報告
平成 28 年 11 月 12 日（土）
於 ホテルアバローム和歌山（和歌山市）**
文責／湯川裕史（学 29 期）

仁泉会会員の皆様にはご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

本年は夏過ぎてフラフラとした台風などいくつかの台風が日本を悩ませましたが、幸い和歌山はあまり影響を受けませんでした。本年も好天に恵まれた去る 11 月 12 日（土）、仁泉会和歌山県支部総会を開催しました。

古田浩太郎支部長（学 14 期）からのご挨拶では、まず長年和歌山県支部の活動にご尽力いただいた寺田泰治先生（高 16 期）のご逝去を悼まれました。5 月に行われました仁泉会総会の報告と理事長のお言葉を披露され、大学卒業後にすぐに和歌山医大に入局した先生方もあくまでも母校は大阪医大であることを忘れないで、とあった事が伝えられました。

続いて田伏俊作副支部長（学 20 期）のご発

声で寺田先生、北脇脩先生（学 2 期）に黙祷を捧げました。

議事は例年通り進みます。会計報告は田伏先生より頂き、柳川泰彦先生（学 28 期）より会計監査は適正であると報告を頂きました。庶務報告を湯川（学 29 期）より、現在の会員状況、会員の変動、会員分布、現役員等々につき報告しました。役員改選は 2 年毎となっていますが、支部長にもう一年をお引き受け頂けましたので、役員の変更なしでご出席の先生方全員の賛同を頂きました。最後に、来年の総会は平成 29 年 11 月 11 日（土）の開催を確認しました。

本年の特別講演は、本年春に和歌山医大放射線学教授に就任されました園村哲郎先生（学 35 期）にお願いしまして、「和歌山県立医科大学の放射線診療」のテーマでお話を伺いました。画像診断、IVR（Interventional Radiology）、放射線治療の現状を詳しく講義頂きましたが、すべての診療科の診断と治療に関わっている事がわかりまして、その診療の膨大さに感心しきりでした。和歌山医大でのオリジナルとして、ヒアルロン酸ゲル注入による危険臓器の移動、アシアロシンチを用いた機能肝の温存についての手技を教えて頂くと、今後ますますの園村教授のご発展、ご活躍が間違いのないものと思われました。



長く和歌山県支部の活動にご尽力いただきました寺田泰治先生が本年 6 月に鬼籍に入られましたので、特別講演の後に寺田先生の偲ぶ時間を設けました。古田先生より医師会会報の文章から寺田先生のご活躍をご披露頂き、村上浩一先生（学 32 期）からは寺田先生のこれまでのお写真をスライドで追いかけて頂き、中田勝次先生（高 17 期）より若かりし頃の寺田先生のお話を伺い、支部総会ではうかがい知れない寺田先生のお姿が改めて偲ばれました。

この度仁泉会本部から理事の方の派遣を問うて頂きましたが、総会、特別講演、偲ぶ会などで予定が詰まっておりましたので控えさせていただきました。来年はお願いしようと思います。場所を移しての写真撮影の後は、橋本忠明先生（学 25 期）のご発声で懇親会の開宴となりました。和気あいあいとそれぞれのテーブルやお酒を注ぎに回りながらのあちこちのテーブルで話に花を咲かせて頂き、いささか皆さんにアルコールが回り始めた頃に、順次恒例の自己紹介が始まりました。昨年の懇親会と同じ話をされる方や、この一年で大きく変わられた方、久しぶりに参加された方、新たに参加された方の話で、その都度会場のそこここから歓声、囃し立てる声、笑い声と拍手が上がっていました。中でも柳川先生から 3 年がかりで彫り上げたとい

う如意輪観音像を披露して頂いた時には、皆から驚きと感嘆の声が上がりました。会の締めは田伏先生指揮の学歌斉唱で、今年度の支部総会・懇親会が終了となりました。

年々少しずつですが支部総会に若い先生方の出席が増えてきて、喜ばしい事です。もちろん以前から和歌山でご活躍の古株の先生方もぜひ出席して下さい。来年はさらに多くの先生方に参加して頂けるよう声掛けをしていきたいと思います。平成 28 年 12 月 13 日 記



編集部より

会費納入のお願い

年会費

平成 29 年度 10,000 円

平成 28 年度 10,000 円

平成 27 年度 10,000 円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●48 巻 4 号（平成 29 年 7 月 1 日発行）

締切 平成 29 年 5 月末日

●48 巻 5 号（平成 29 年 9 月 1 日発行）

締切 平成 29 年 7 月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町 2-7

E-mail：jimuj@jinsenkai.net

FAX：072-682-6636

支部だより●●●

平成 28 年度

仁泉会香川県支部総会のご報告

平成 28 年 3 月 25 日（土曜日）

於 高松市 ALICE in Takamatsu

文責／安賀文俊（学 51 期）

仁泉会会員の先生方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のことと、お慶び申し上げます。

去る 3 月 25 日、高松市内のレストラン ALICE in Takamatsu におきまして、恒例となりました仁泉会香川県支部総会を開催しましたので、ご報告いたします。

今年は 16 名の先生方に参加していただきました。伊達学幹事（学 31 期）の司会で始まった会では、まず石田達也支部長（学 28 期）より、ご挨拶をいただきました。仁泉会総会の報告、

高槻中高等学校や大阪薬科大学との今後の展望などを話していただきました。各地の仁泉会支部も香川県以上に盛り上がっているところがあり、香川県支部もどんどん盛り立てていこうと支部長の強い決意表明もいただきました。

中野和男先生（学 19 期）のご発声による乾杯の後、楽しい遊宴が始まりました。高松の夜景や屋島などの素晴らしい展望が楽しめる 30 階にあるレストランで、学生時代の思い出話から、最近の医療事情まで、時間を忘れて語り合いました。途中、前学長の竹中洋先生が、京都府立医科大学の学長に立候補しておられる話題が出て、竹中先生が学長時代に仁泉会香川県支部総会に出席していただいたことなども、話題に上がりました（その後、次期学長に選出されたとの第一報が入ってきました）。出席者全員の近況報告を兼ねたスピーチでは、若手の先生方に重鎮（？）の先生方から色々なツッコミが入ったりして、大変盛り上がりました。

小比賀 薫先生（学 23 期）の中締めのご挨拶



参加者（敬称略）

後列左から 小橋祐子（学 53 期）安賀文俊（学 51 期）兼竹博文（学 65 期）大谷昌裕（学 40 期）伊達 学（学 31 期）石田達也（学 28 期）三浦歆之（学 54 期）大森信介（学 53 期）和泉賢一（学 58 期）

前列左から 伊槻卓哉（学 48 期）堀井泰浩（学 37 期）田中嘉雄（学 28 期）小比賀 薫（学 23 期）中野和男（学 19 期）小西 薫（学 23 期）樫村雅典（学 29 期）

にて、盛況の内にお開きとなり、有志で二次会へと繰り出して行きました。

今年度は、仁泉会香川県支部に、和泉賢一先生（学 58 期）、兼竹博文先生（学 65 期）の 2 名の新しい会員を迎えることができました。昨年に続いて仁泉会香川県支部に若い先生が加わ

り、仁泉会香川県支部活動が盛んになると思い、出席者一同大変心強く感じました。

来年度の仁泉会香川県支部総会も、今回以上の参加者で更に盛り上がるように準備しようと思っております。



第 2 回『新三水会』のご案内

大阪医科大学仁泉会岐阜県支部・支部長 小嶋昭次郎（学 29 期）

謹啓 仁泉会会員各位におかれましては益々ご健勝のことと存じます。さて、愛知・三重・長野・岐阜の四県支部が合同で集う「新三水会」が一昨年に発足し、第一回は名古屋で開催されました。この会は、二年毎に開催ということで、本年は岐阜県支部が担当し、下記の要領で開催させて頂くこととなりました。母校の近況などを伺い、さらに会員相互の親睦を深めるためにも、一人でも多くの方のご参加をお待ち申し上げます。なお準備の都合上、参加のお申込みは、5 月 15 日までに各県支部にご連絡ください。 謹白

記

日時：平成 29 年 6 月 4 日（日） 午前 11 時開始

場所：十六プラザ（JR 岐阜駅隣接 Tel:058-262-0150）4F 研修室 1

会費：10,000 円

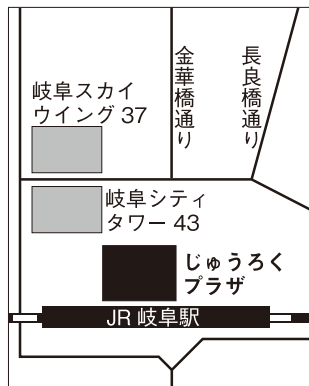
次第：第 1 部：式典と講演（一時間程度）

主催者代表、仁泉会本部役員、病院長、各県支部長の挨拶
赤尾幸博先生による学術講演

第 2 部：懇親会（午後 3 時終了予定）

1F レストラン：ラ ローゼ プロバンス（Tel:058-262-0156）

にて昼食会を催します。



支部だより●●●

平成 29 年仁泉会高知県支部総会・新年会報告

文責／枝重恭一（学 26 期）

平成 29 年 1 月 21 日（土）高知市の繁華街にある「希満里」で午後六時半、学 26 生枝重恭一氏の開会宣言で会は始まりました。まず、恒例の濱脇会長挨拶。「昨年は残念ながら、田辺裕丈先生（高 20 期）と川村明廣先生（学 27 期）の悲しい訃報がありました。川村先生については昨年の総会でお話した様に、平成 27 年 1 月 31 日の高知県と寄付講座契約の結果、昨年からくぼかわ病院に大阪医大から総合診療医が派遣され喜んでいと存じます。川村先生とは産科施設のない高幡地区に正常～ロウリスク妊産婦のための産科施設をくぼかわ病院に作る構想のお約束して頂いただけに残念でなりません」。嬉しいニュースとして「大阪医大が医師臨床研

修マッチングで希望者の多い大学で 5 位にランクイン、定員に対する充足率 120% と大学のレベルアップに感激した」も頂いたのですが、やはり川村先生の訃報はショックでした。これから大阪医大とタッグを組んで高知県医療に貢献するという志半ばでのまさに殉職、黙祷はいつにもまして鎮痛な時間が流れました。

気を取り直して、会計報告、監査を終え、会長の提案で今年は若い先生に古い？先生を知ってもらおうと自己紹介をしました。時計回りに枝重（学 26 期）、前田（学 30 期）、三宅（学 23 期）、土居秀（学 22 期）そして最高齢 93 歳の武井廉平先生（学 3 期）。旧制水戸高校時代に水泳のオリンピック強化選手に選ばれた（フジヤマのトビウオこと古橋と一緒に）話、陸士から戦後入った大阪医大では競泳に駆り出され優勝したとか、さすがステントを 3 本もいれてもなお酒、タバコも止めずエイジスコアで回る先生の初めて聞く武勇伝にエー！オー！と思わず全員叫んでいました。病気になって死ぬのではない、寿命遺伝子により寿命は決められているという久坂部羊氏の短編「病院の中」のまさに小説を



地でいく先生です。その後は雑魚が続き、澤田先生(高19期)、今橋先生(学3期)、山脇先生(学6期)の先生方も武井先生に勝るとも劣らないパワー全開で座を沸かし、学11期濱協会長ですらまだまだひよっこ。そしてしんがりの竹中先生(学54期)に至っては祖父世代の大先輩に圧倒されっぱなし。でも、年長の先生がたの話に甚く感心、高齢化の進むこの仁泉会高知県支部の最年少の永久会員として、この会を最後まで看取っていく覚悟が出来たのではないのでしょうか。講演会もアトラクションもない会ですが、先輩だからといって偉ぶることもなく、むしろ若い者が大きな顔をして先輩に甘え、言いたい放題?それを嬉しそうに相手をしてくださる、そんな集まりです。往年に比べると半数近い出席者、今年はその上近森先生はじめ常連の先生がたが欠席、淋しい会と思いきや土居、三宅、前田の「ぎ・やんちゃトリオ」健在、会長の蘊蓄話にうんざり(笑い)しながらも久々の久武先生(学28期)の参加もありで最後まで大いに盛り上がりました。そして三宅先生の一本締めで今年も無事総会・新年会を終わった

のでした…が、蛇足ですが、武井先生、少々酩酊気味「コートなんか着てこなかったぞ」「そんなはずないじゃないですか。奥さん、ちゃんと着せてるはずですよ」。なんだかんだで「最後に残ったのが先生のコートでしょ」…顛末は知りませんが、最後まで武井先生のペースで今年が始まったのでした。

出席者

澤田 久 (高19期)	今橋経任 (学3期)
武井廉平 (学3期)	山脇忠昭 (学6期)
濱脇弘暉 (学11期)	土居秀策 (学22期)
三宅ヨシユキ (学23期)	市原直子 (学24期)
枝重恭一 (学26期)	久武邦彦 (学28期)
前田 隆 (学33期)	赤松 順 (学33期)
川田誠一 (学34期)	竹中英喬 (学54期)
計 14 名 (敬称略)	

S58 同窓会開催のご案内

S58(学32期)の同窓会を下記開催致します。おって詳細のご案内をお送りさせていただきますのでご予定にお加え頂きますようお願い申し上げます。

記

日時：平成29年11月25日(土) 午後6時より

場所：ホテル阪急インターナショナル

会費：15,000 円程度

担当幹事 学32期 久保寛倫

仁泉ひろば

jinsen-park

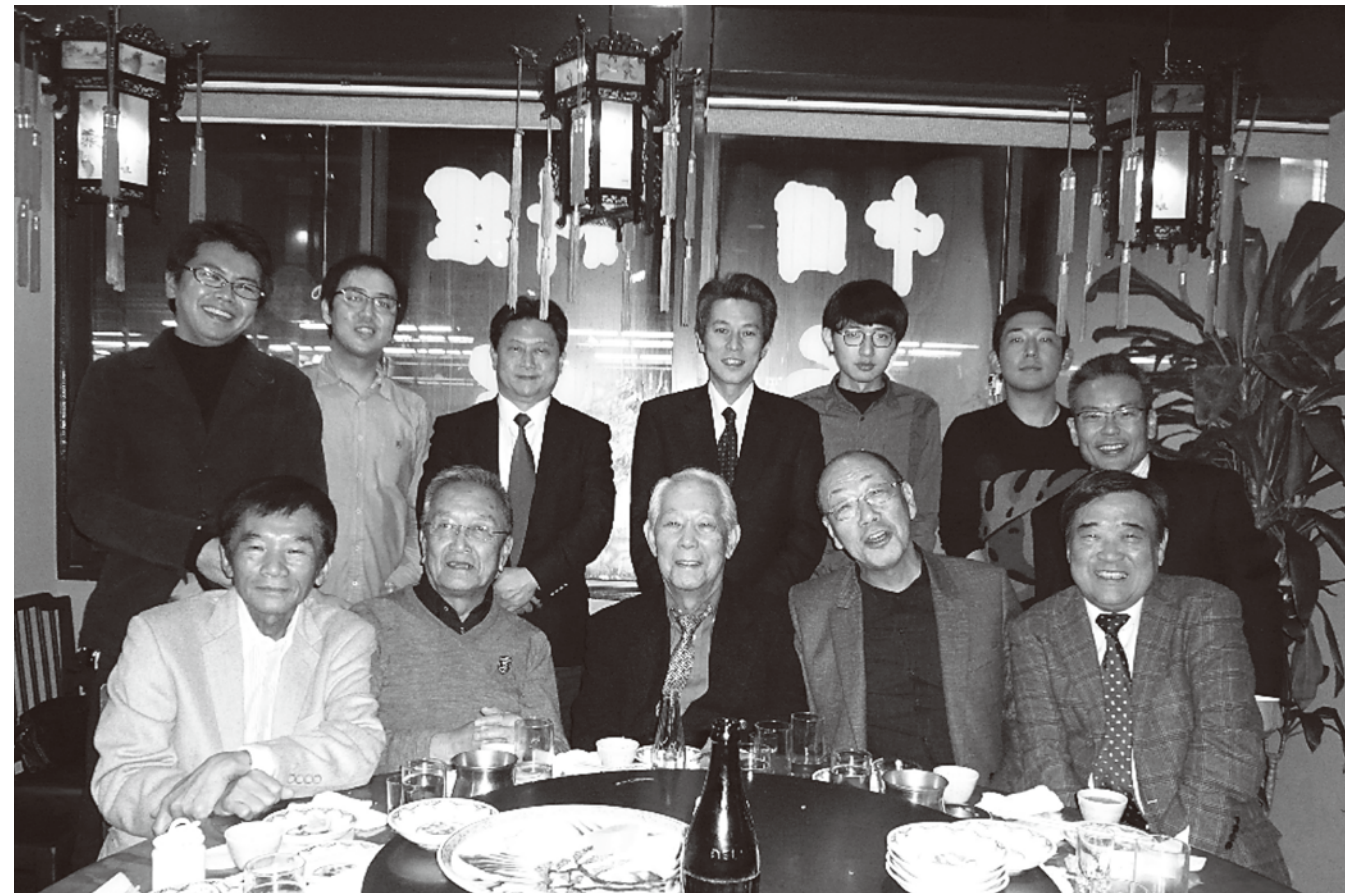
大阪医大六甲会

文責／黒川晃夫(学43期)

今年の3月は、一瞬暖かい日が来たかと思うと、再び寒い日が何日も続いた。そのため、春の訪れを肌身で感じることは少なかった。しかしながら、関連病院に出向する者や医局を去る者への送別会を開催し、メッセージカードを書き、花束を贈呈するうち、春の足音が徐々に大きくなっていくことに気づいた。そんな中、桜がまだちらほら咲きの4月1日(土)、大阪医大六甲会(以下六甲会)が、JR元町駅すぐの中国料理「東光」にて開催された。六甲会とは、六甲学院中学校、高等学校から大阪医科大学へ進学した学生と先生とが、お酒を酌み交わしながら団欒する親睦会である。六甲会が発足されたのは、実に半世紀以上前に遡る。当時大阪医

大生であった榊原茂樹先生をはじめ数名が大阪医科大学内科で勤務されていた西本 博先生のところへ出向き、お食事を御馳走になられたことが事のきっかけとされている。米寿目前の西本先生の御挨拶および乾杯の音頭で宴の幕が上がった。お酒が進むにつれ、将来のことを真剣に先輩に相談したり、逆にどんな道に進みたいかを先輩が後輩に尋ねたり、昔の六甲時代の話に花が咲いたりなど、参加者全員が、思い思いの話をしていた。会話の内容はまちまちであったが、六甲独特の絆が、温かみの満ち溢れた和やかな雰囲気を作り上げていた。最後は、年配の先生方が、こんなに長く続く会は六甲会以外見たことがないと異口同音に仰られ、改めて長きに渡り継承された六甲会の重みを痛感した。

昨年、返信葉書の数が少ないとの御指摘を受け、今回はじめて大阪医大六甲会名簿を作成した。自宅の住所が不明な場合は、クリニック宛に案内状をお送りした。その結果、例年より多くの返信が届き、返信された先生方に感謝して



前列左から 安藤、榊原、西本、森、岡

後列左から 寛島、中田、井尻、松本、橋本、真野、黒川(敬称略)

いる。しかしながら、蓋を開けてみたら、出席者はいつものメンバーで、おまけに学生はゼロという結果になってしまった。恐らく、欠席者の中には、六甲会に暫く顔を出されていなかったり全く出席されることがないため、六甲会がどんな会か分からず、出席を躊躇された先生方もおられると思う。また、学生にこの会の楽しさをきちんと伝えきれていなかったかもしれない。この会は、上は 80 歳を超える先生方から下は 20 歳台まで幅広い年齢層の方々が参加されている。初めて出席される学生、先生方ならびに久しぶりに出席される先生方も大歓迎であ

る。もし、次回、少しでも御参加する御意向があれば、迷わず御出席頂くことを願ってやまない。

出席者（敬称略）

西本 博（学 5 期） 榊原茂樹（学 17 期）

安藤嗣彦（学 20 期） 森 義孝（学 22 期）

岡 博行（学 25 期） 井尻慎一郎（学 31 期）

松本逸平（学 42 期） 黒川晃夫（学 43 期）

寛島佑史（学 60 期） 中田庸介（学 63 期）

真野 翔（学 65 期） 橋本 黎（学 65 期）

尚、西田 悠（学 55 期）は、二次会から合流した。

受賞報告

大西洋一郎先生（学 25 期）が下記の表彰を受けられました。
母校同窓会として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

祝・受賞！ **学部25期 大西洋一郎先生**
大阪府学校保健功労者
東大阪市市政功労者【教育文化振興功労】

各地で喜びの受章・受賞等あれば、事務局宛書面、新聞などをお送りくださるか、
原稿をお届けください。

本誌にて広く紹介させていただきます。

気になるあの場所・あの人に 編集部がジャストミート！

関西初！ マックシール 巽病院が国際医療評価機構「JCI」から
世界基準としての認定を関西初取得！

国際基準審査のメリットをお聞きしました

JCI とは、世界の中で最も厳しい基準を持つ医療評価機構とされています。

「自分たちが行っている医療は果たして正しいのか」そんな思いを元に JCI から認定を受けるための取り組みをしてみようと考えた仁泉会会員でもある巽理事長。理事長をはじめ 3 人の同窓の先生から認定を受けた率直な気持ちと今後の目標などをお聞きしました。

JCI (Joint Commission International) とは？

1917 年ハーバード大学外科医のコッドマン教授の「自らの診療行為を第三者の医師に評価してもらいたい」との発想から、1951 年米国外科学会、内科学会、アメリカ病院協会、アメリカ医師会、カナダ医師会が病院認定合同委員会 JCAH(Joint Commission on Accreditation of Hospital) を結成しました。その後、1987 年に拡大する活動範囲を考慮して、名称を JCAH から JCAHO(Joint Commission on Accreditation of Health Care Organization) に改めています。さらに、2007 年に、名称を JC(The Joint Commission) に改め、現在に至っています。その国際部門として 1994 年に設立されたのが、国際非営利団体 Joint Commission International (JCI) です。本部はシカゴにあり、ミラノ、ドバイ、シンガポールに支部があります。世界中のどこでも通用する基準や指標をもとにした「患者安全」「感染管理」「医療の質」などに対する審査の妥当性や有効性が評価され、これまでに世界 60 ヶ国 670 以上の医療施設が JCI の認証を取得しています。アジア圏においては、病院プログラムで中国 64 施設、韓国 5 施設、台湾 6 施設、タイ 42 施設、シンガポール 10 施設、UAE75 施設が認証を取得しており、日本では現在までに 18 病院が認証を取得しています（平成 29 年 3 月現在）。



左から田中雅也先生（学 32 期）、巽 孝彦先生（学 26 期）、蓑原靖一良先生（学 30 期）

自分たちの医療は正しいのか？

2016 年 12 月、異 孝彦先生 (学 26 期) が理事長を勤める「マックスシール異病院」が、国際医療評価機構「JCI」から世界基準としての認定を授与されました。日本では 18 番目、そして関西では初の認定病院となりました。日本にも「日本医療評価機構」がありますが、異先生は書類による審査が多いと言われている日本式の評価より、徹底的に実地での審査にこだわるアメリカ式の評価基準を選択。それは「自分たちが行っている医療はどんなものなのか、どんな風に思われているのか。それを普段の業務を見てもらうことで知ってみたい」という異先生の想いからでした。「クリニックであれ、病院であれ、大病院や大学病院であれ。どこでも一所懸命医療に取り組んでいるんですよ。でも、どうやって？ と問われるとなかなか答えが出ない。がんばります！ だけでは説得力に欠けます」

千葉の亀田総合病院が日本で初めて JCI の認定を受けたことを皮切りに、主に関東で数カ所の病院が続々と認定を受けていることを知り、JCI のことを調べ始めました。

JCI が発行する Accreditation Standards (認定基準書) に記載されているポリシー (考え方) に基づいて自分たちができるやり方でアプローチできること。審査の内容や質問を事前に知ることができるように公平性が高いこと。審査基準を満たせば病床数や規模に関わらずどんな医療施設でも認定を受けることができること。そんなところが異先生は気に入ったと言います。

「当たり前と言えば当たり前ですが、非常にフェアな姿勢だと思うんですね。試験とか審査の時って、日本的な考え方だとどうしても全国津々浦々同じ枠付ないとなくなってしまうけれども、JCI はその国の民族衣装でどうぞと、しかも普段着で結構ですよと言う。つまり、あなた方が普段されている医療を見せてくださいということです。それならば、当初思っていたよ

うに、自分たちの医療がどう判断されるかを知ることができるのではないかと考えました」

審査に向けて、

ドクターと職員が一体となって

そうして認定取得に向かってキックオフされたのが 2014 年の 9 月。その後順を追って全職員へのアナウンスを行いました。

「まず大変だったのはポリシーが載っている Accreditation Standards を読み解くことでした。一応日本語版はあったんですけど、どうも文脈がおかしいところがある。おそらく日本人ではない人が訳した、もしくは医療に詳しくない人が訳したか。なので自分たちで一旦全部を訳し直しました」

全体を統括するコアメンバーが 7 人。そして 14 あるカテゴリーごとにチームを作り、リーダーにアドバイザーとしてドクターが一人付き、さらにチームメンバーが 5～6 人という陣容で考え方に基づいた手順書を作成していきました。

そしておよそ 1 年がかりで全カテゴリーの書類が完成。14 カテゴリーを束ねると、なんと 2.5kg の重さでした。

「最初はスタッフがどう思うか不安でした。日常の業務をしながらこれだけの手順書を作ったということは本当にすごいことですよ。でもみんな前向きに取り組んでくれた。それが何より嬉しかったですね」

いよいよ審査当日へ

2.5kg にもなった異病院の「考え方と手順書」を JCI に提出。その後 JCI から Survey Process Guide」に基づいて当日の審査内容や、こういう質問をしますということが事細かく書いてあるスケジュールが届きます。審査する側もされる側も共通の認識で取り組む。しかもそ

の基準は世界共通のもので、異病院のクオリティを測るガイドラインとなります。そういうところも異先生が「フェアなやり方」と考えたところだと言います。

審査当日までにそういったことを全職員に周知させ、行動も伴わせなくてははいけません。自分たちで考えたやり方をきちんと自分たちが実践できているかを問われるからです。しかも「なんとなくやってますよ」という答えではなく、ちゃんと証明できる証拠や理論も求められます。さらに、職員やドクターだけではなく、清掃業者やサプライヤーなどの委託業者にも徹底させたそうです。

そして 2016 年 12 月 13 日、JCI から 3 名のサーヴェイヤーが異病院に入り、丸 4 日間に渡る審査が始まったのです。

「一応時間割はあるんですが、その通りにいくということは多くありませんでした。次の場所に行こうとしても、そこでふと気になるところを見つけたら足を止め、そこにいる職員に質問をしたりする。手術室なんかもそーっと覗いてましたね (笑)」

表面に見えている事象だけをチェックするのではなく、手術室のラバーの裏や医療機器の内部、施設外のゴミや排気の状態なども細かく見られたそうです。

「彼らは専門知識を備えた優秀な人材ですよ。しかも実際の審査の後、一週間ほどして JCI 本部から審査員の評価を私たちに求められました。審査する側もチェックを受ける体制が整えられている。この部分もフェアと感じました」

そうして、およそ 2 年間に渡る全職員・ドクターを挙げての努力の結果、12 月 19 日に JCI 本部から「世界基準を満たした」という連絡が入ったのです。

そして未来に向かって

もちろん認定を受けたからといってひと息つく暇はありません。認定された項目が、さらに改善され、伸びているのかということを一定期間でチェックされるからです。

「どの項目を重点的にやっていくかということ、また自分たちで決めて、一定期間でモニタリングしていくことをしなければいけません。そして数回チェックしてそれが達成できると、また次の課題に取り組む。ずっとその繰り返しです。山に登り続けているイメージです」

しかも JCI の認定は、3 年後に再審査される必要があります。そこに向けても次の一歩を踏み出さなくてははいけません。ただ、異先生をはじめ 3 人の先生には心強い材料もあります。それは現場の雰囲気が以前と比べて劇的に変わったことです。

「顔つきが違いますもんね。相当自信になったんだと思います。それも特別なことをやったわけではなく、今まで自分たちがしてきたことの延長線上のことをやっただけ。つまり自分たちの普段の医療への取り組みが評価されたということですから。このやり方が違うと思えば、また新しいやり方に改善したらいい。その評価を得たことも大きいですね。そういう意味で、仁泉会の先生方にも広く知ってもらいたいと感じました」

関西では初となる偉業に取り組んだマックスシール異病院。その結果得られたものは、地位や名誉や宣伝効果といった俗物的なことではなく、自分たちの医療の向上に向けての道でした。「時間やコストの投資を大きく上回る財産となった。はず！ (笑)」

そう言って大きく笑う異先生の表情から、一連の時間の充実ぶりが感じられました。



2.5kg にもなった異病院の「考え方と手順書」



審査当日のオープニングの様子



手術室の中にも審査が入りました



審査終了後の記念撮影

ご略歴

巽 孝彦先生

昭和 52 年 大阪医科大学
付属病院臨床研修開始
昭和 54 年 大阪医科大学
付属病院臨床研修終了
昭和 60 年 米国クリーブランド
クリニック
昭和 62 年 大阪医科大学胸部外科
助手
平成 2 年 大阪医科大学胸部外科
講師
平成 6 年 医療法人マックシール
理事長

蓑原靖一良先生

昭和 56 年 大阪医科大学
付属病院胸部外科入局
平成 2 年 大阪医科大学
付属病院胸部外科助手
平成 8 年 大阪医科大学
附属病院胸部外科講師
平成 8 年 医療法人高明会
西宮渡辺病院勤務
平成 16 年 医療法人マックシール
異病院副院長

田中雅也先生

昭和 58 年 大阪医科大学
付属病院臨床研修開始
昭和 60 年 大阪医科大学専攻医
平成 5 年 大阪医科大学助手
平成 8 年 石切生喜病院医員
平成 8 年 大阪医科大学非常勤講師
平成 10 年 大阪医科大学講師
(内科学担当)
平成 11 年 医療法人マックシール
異病院勤務
平成 21 年 医療法人マックシール
異病院副院長

これが私の住むとこ働くとこ とことこ記

宮崎県諸塚村
桐村泰廣先生
(学 34 期)

私は京都で生まれ、京都で育ちました。家は西陣の織物を営む両親のもとに生まれ、小さいころより京都御所や金閣寺の境内で遊んだり、金閣寺を見下ろすようにある大文字山に登ったりして遊んだものでした。そんな私が「気が付いたらなぜかここ諸塚村にいる」といった感じです。宮崎県には村が 3 つあります。諸塚村はそのうちの 1 つで、隣村は日本 3 大秘境の 1 つに数えられる椎葉村があります。

昨年の 12 月までは、宮崎県日南市で 20 年間地域医療に携わってきました。温暖な気候の日南は広い空と青い海がいつも目の前にありましたが、ここ諸塚村は同じ宮崎県ですが周囲を山々が占めその隙間を溪流がながれ、空は見上げないと見えないところです。

中山間地域の医療は厳しいものがあります。救急要請があれば今までデスクワークしていた村役場の職員が役場所有の救急車に乗り込んで依頼先に出動します。患者の状態によってはナースやドクターも同乗します。諸塚村は坂道ばかりで平坦な所といえば小中学校ぐらいで、村役場も私の住んでいる住居も坂道の途中にあります。諸塚村を横切る 3 ケタ国道が最も道幅

が広く対向 1 車線ですが、急患患者の家までは国道から県道そして枝道の村道に入るため、対向車が来るとどちらかが道を譲らないと通れません。そこを大急ぎでサイレンを鳴らしながらクネクネ道を飛ばすため、同乗するナースとドクターは車酔いしてしまいます。

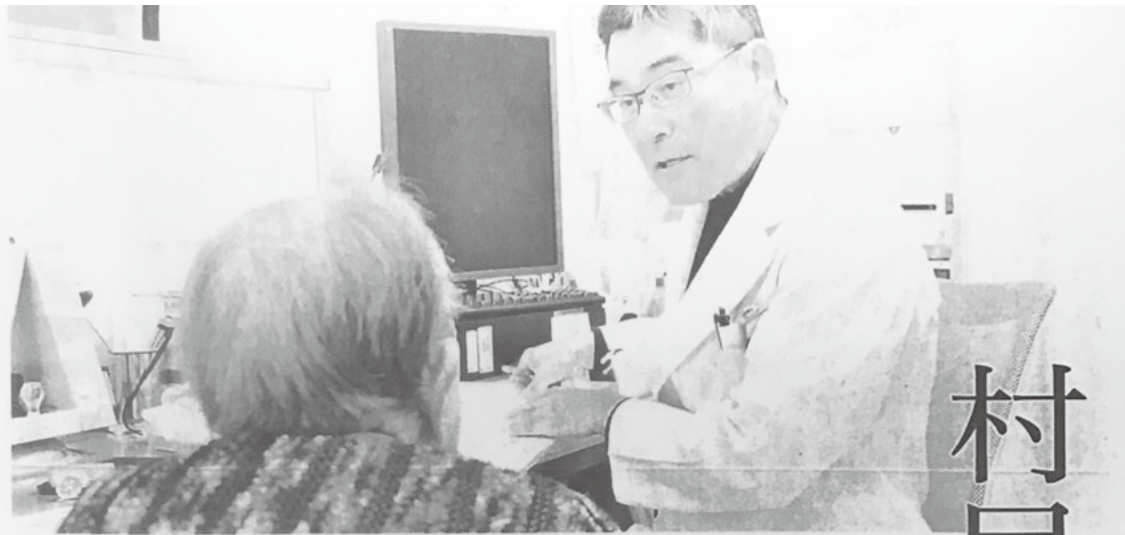
また諸塚村には医療機関は諸塚診療所しかありませんから、24 時間体制で急患患者を診ることになります。都会のように忙しいからと言って断ることはできません。CT 検査・エコー検査・内視鏡検査・緊急採血検査は可能です。最低限の医療資源の中で小児科から高齢者まで 24 時間体制で診療する覚悟が必要となりました。

このような環境であります。仕事をさせていただく機会を与えていただいた諸塚村村長をはじめ役場の皆様方、村議会の議員の皆様方には感謝しています。そして村民からいただく諸塚特産の素晴らしいシイタケに感謝し、食べられないジビエ料理にもありがたく挑戦中です。

これからも可能な限りこの地域で頑張ろうと思っています。

「とことこ記」をご投稿いただきました桐村泰廣先生が掲載されました 3 件の記事を安田守孝先生（学 34 期）よりご紹介いただきました。

次ページへ



外科医 桐村 泰廣さん(60)

村民の診察に当たる桐村さん。「医師としての最後のキャリアを諸塚で終える」と話す―諸塚村・諸塚診療所

村民の健康を守ってきたい。外科医として県内外の医療機関に勤務経験を持つ桐村泰廣さん(60)が諸塚村に住み、諸塚診療所の「定着医」として診療を始めている。20年勤めた医療機関を辞めたのを機に一念発起、「違う形で社会貢献しよう」と医師としての最後のキャリアを地域医療に「ささげること」を決めた。

桐村さんは京都市出身。大阪医科大学を卒業後、奈良県立医科大学心臓血管外科の研究生とな

諸塚診療所に着任

り、その後、消化器系の外科医として鹿児島や大阪で主に救急医療に従事した。宮崎と縁ができたのは1995年。知人の医師が宮崎市内で開業した病院に勤務したのがきっかけ。96年からは日南市内の病院で約20年間にわたって院長を務めた。昨年、その病院を退職。次の勤務先を探す中で「これまでと違う形で社会貢献したい」と考え、県医療業務課を訪問。「宮崎のために何でもする。病院を紹介してほしい」と相談した。そ

「最後のキャリアささげる」

その後、消化器系の外科医として鹿児島や大阪で主に救急医療に従事した。宮崎と縁ができたのは1995年。知人の医師が宮崎市内で開業した病院に勤務したのがきっかけ。96年からは日南市内の病院で約20年間にわたって院長を務めた。昨年、その病院を退職。次の勤務先を探す中で「これまでと違う形で社会貢献したい」と考え、県医療業務課を訪問。「宮崎のために何でもする。病院を紹介してほしい」と相談した。そ

村内の医療機関は同診療所だけで、桐村さんが勤務を始めた1月以降は3人体制で診療。それまでは、県からの派遣医と、同村の地域医療を20年以上支えてきた黒木重三郎副所長の2人で、外来や在宅医療を何とか維持してきた。

ただ、県からの派遣医

(押川真基)

村民の健康守りたい

★★★★平成29年1月31日付の宮崎日日新聞より★★★★

～ 諸塚診療所副所長に「桐村 泰廣先生」が着任されました ～

「諸塚の医療にがんばります」



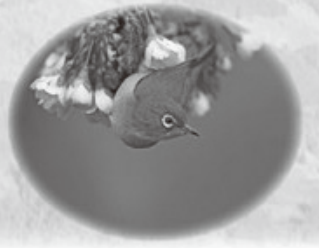
諸塚村のみなさま、こんにちは。
今年1月より諸塚診療所で働くことになりました。
専門分野は？と問われると「外科」ということになります。
しかし、幅広く地域の医療・福祉・介護にかかわっていきたいと考えています。
諸塚村には、1,700人あまりの村民がいらっしゃって、73の集落に分かれていると聞きました。
今まで経験のしたことのない環境です。村民の方々がどのような医療を求めているのか、そしてどのような医療が必要なのか、少し時間をいただいて、この地域に溶け込んで村民の方々と触れ合う中で考えていきたいと思っています。
私の中では、1,700人あまりの村民の方々とつながって、この地域で診ることができる医療は、できる限りこの地域で診てあげたいという思いがあります。
末永く、この地域でがんばっていきます。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



～ミニコラム～

京都市出身。昭和31年生まれ。大阪医科大学卒業。
大阪府八尾市と鹿児島県鹿屋市で救急医療ならびに外科医療に携わる。平成8年から28年まで宮崎県日南市の病院で地域医療に携わる。つい最近まで宮崎市の関連施設で消化管腹腔鏡下手術に関わってきた。
外科専門医・病理解剖資格・嚥下内視鏡研修会終了・がんリハビリテーション研修終了・緩和ケア研修終

趣味は、野鳥の撮影です。カワセミ、ヤマセミ、アカショウビン、ブッポウソウなど毎年撮りに出かけます。クマタカは、まだ撮ったことがないので情報提供をお願いします。



～村長より～

1月の着任あいさつ時に桐村先生の趣味である野鳥を撮影した写真を寄贈いただきました。村の鳥でもある「メジロ」で、役場庁舎の応接室に展示しています。

茶の間 諸塚の皆さんがうらやましい

1月31日の新聞紙面でお元気そうなお桐村先生の白衣姿を拝見した。昨年の10月半はさきいっものように受診後、「今年いっぱいここで辞めて諸塚村の診療所に行きます」。いそいそとわが耳を疑った。

至って健康であつた私も若年波には勝てず高血圧症でお世話になるようになって、12年が過ぎた。良い先生との出会いを喜び、人に聞かれないとすぐに先生の名前を口にして勧めてきたものである。当然、一生お世話になるつもりでいた。9月半はすぐに決めたのだ。12月最後の受診の時、野鳥のすてきな写真を5枚頂いた。千組用意して患者さんにプレゼントされたとか。写真が趣味のようで病院のあちこちに風景や野鳥の写真が飾ってあつた。医師としての腕前はもうろんだが、精神的にもすいぶん救われた。ファンも多く、みんな自分だけの先生のように慕つていた。

日南での開業の話もあつたようだが断り、学生時代からいつかと思つておられた地域医療の道を選ばれた。日南に足りないものがあるとするは「心療内科」とおっしゃった言葉が耳に残る。ああ、諸塚がもう少し近くにあつたら、続けて受診したい。諸塚の皆さんがうらやましい。

(日南市・会社員・70歳)

桐村先生からのコメント

山本八千代さんは、この4月1日より国民健康保険諸塚診療所の看護師長として看護部のトップとして頑張っております。
昭和59年4月より大阪医科大学付属病院第3内科で6年間仕事をされています。

『昭和59年4月から6年間大阪医科大学附属病院に勤務し、第3内科の河村慧四郎教授初め諸先生方に大変お世話になりました。』



★★★★平成29年2月5日付の宮崎日日新聞より★★★★

冊子 切 抜

72歳の宝物

松 岡 伸 二

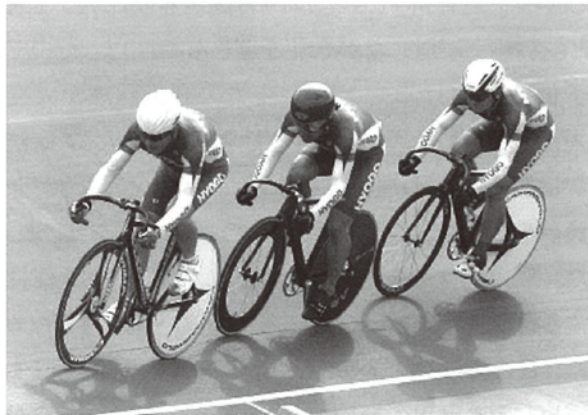
酉、戌、亥、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申を6回繰り返して、72歳となっていました。毎日楽しく健やかに過ごしております。そのわけは、自転車競技を続けている事かもしれません。

先日も、日本スポーツマスターズ2016秋田大会自転車競技に出場してまいりました。6部（60歳以上）の中でも最高齢です。



○個人パーシュート2km 8位/11名（3分06秒427）
○500mタイムトライアル 7位/15名（43秒016）
今回は両方とも入賞でき大満足でした。

もう一つうれしかった事は、二男の亮（内科開業42歳）もこの大会2部（40～45歳）に出場したことです。一昨年よりの連覇を目指しましたが、おしくも2位（3km IP）と6位（1km TT）でした。また、チームスプリントに兵庫チームとして親子で一緒に出走できた事（11位/19チーム）、これも私にとっては感動の一つでした。



いろんなスポーツ仲間がいます。二つの癌を克服し、二回の手術の後に復帰して出場。「しんどい時も幸せに感じる。医者に感謝している。」との事でした（喜）。往年の名選手もいます。私達と同じ顔で走っています。

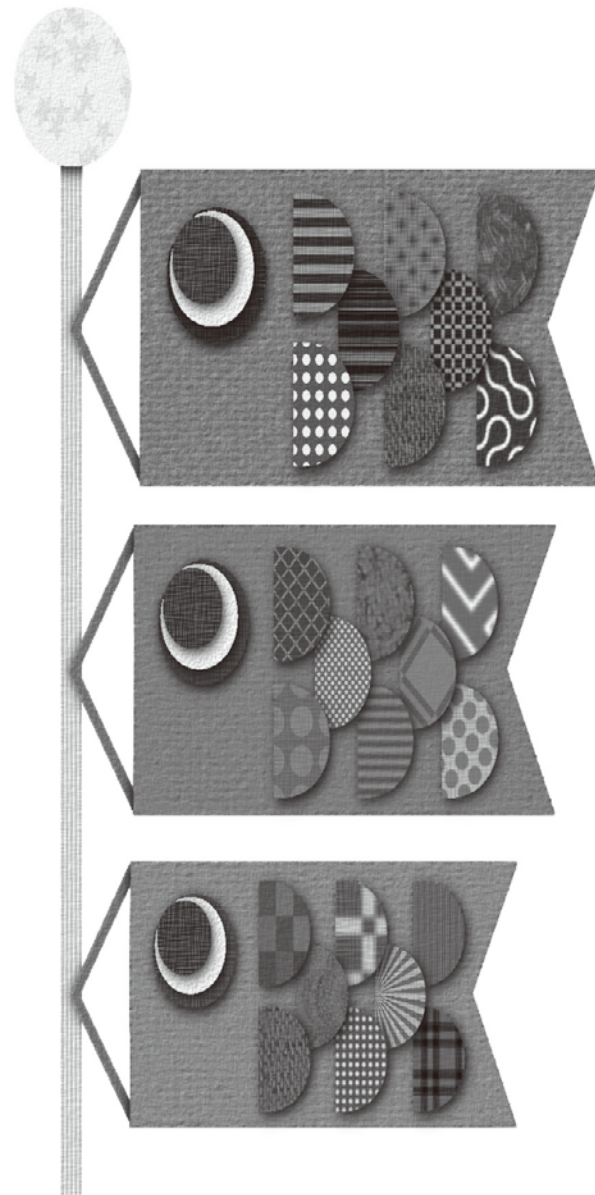
私もスポーツする事、戦うその場に立っている事に、生きている実感、そして笑顔がこみ上げてきます。みんなもそのようです。

2017年、この日本スポーツマスターズ大会が兵庫での開催となります。また皆様、先生方の医療での御協力、そして色々な種目への御出場をお願い致します。

そして私の大切なもう一つの喜びは、医業を続けていることです。無医地区に近い田舎で、ほぼ全科に近い診療を40年近く続けてまいりました。最新の最高の医療には程遠い診療ですが、患者三代にわたり診ており、最初からのカルテも全て保管しております。私の宝物です。

助け人というより、患者さんにとっていい人生の送り人になりたい、と思う今日この頃です。

《神崎郡》



今思うこと

石 上 義 樹



拝啓 古希もすぎたと思いきや、酉年生まれの本稿依頼が尼崎市医師会からとほぼ同時期に舞い込み同じ本稿となりました。建学の精神、至誠仁術の医学部を出、一貫した医療と看護と介護を提供することを基本理念とする当病院に先輩の先生方と縁があり呼んでいただき、臨床にのみ励み、ご指導はじめゴルフ、マージャン等を学び楽しい職場でありましたが四十数年が経過し、この度視力の低下並びにモチベーションの低下を感じ、退職の承諾を得られ、八月十六日から非常勤で外来のみ担当しております。近隣の多くの先生方にお世話になり又、ご配慮に対し深謝しております。書面をもちましてお礼申し上げます。最近はかなり時間的な余裕が出来喜んでます。国会中継を観ることが出来たり、土に触れる機会が増えました。この一年無事に年末を迎えられることを明けてお目出度うと云うことらしいですが、この四十数年お目出度うと思えたのは、息子達が試験に合格出来た年ぐらいです。今の世の中自由、平等が保障され贅沢に馴れ平和ほけになった為、仕事、健康、貯金がなくなってからでないと有り難さは分からないらしい。今思うに何となく医者になり毎年正月に何か成し遂げる決心とか信念も立てることなく経過してしまいました。ただひたすら自分の為、家族の為に働いたのみである。人間の価値は天知る地知る人知ると云われ、指揮官性及び私欲の有無で評価される。医師の評価では大医、中医、小医とありますが、私は小医の落ちこぼれでした。この歳になると葬儀に参列する機会がふえ立派な弔辞を聞いたり、又周辺に叙勲受章の話しを聞いたり羨ましい限りです。これからの私の身の丈にあった生き方としては、百才（三笠宮さま、当院の名誉理事長、実母）を目指して頑張り内閣総理大臣賞でも戴きたい。その為これからは健康ぶらぐを復習しよう。しかしその為には年金の崩壊、TPP参加によって皆保険制

度が崩れてしまうこと、強制保険証と任意保険証の二枚を持たされることを危惧しております。皆様のご健勝を祈念します。 敬具

《尼崎市》



★★★兵庫県医師会報No.746 (2016.12-2017.1) の「われら酉年」に松岡伸二先生（学19期）と石上義樹先生（学20期）のエッセイが掲載されましたのでご紹介いたします。★★★

冊子 切 抜



白岩内科医院とスタッフ。1階は総合内科・高血圧／糖尿病センター、2階は腎臓内科・人工透析センター、3階は療養指導センター。休診中でも忙しいように動き回っていたスタッフたちが白岩さんの一声で一同屋上に集まって撮影に協力してくれた。



★★★precio VOL.63 (2017.5) に白岩俊彦先生 (学48期) の記事が掲載されましたのでご紹介いたします。★★★

Doctors White Paper

医師は「医師」であると同時にひとりの「人」である。
多忙な日々の中で責任を全うし、
かつ自分の人生を輝かせる秘訣は、
その人のバイタリティにあり、とみた。

文／プレシオ編集部 写真／栗飯原正晴

一人ひとりにあつたテーラーメイド治療をチームで実践 良質で長続きする糖尿病治療を

父の跡を継いで

午前診療が終わる頃、カメラマンと訪れた白岩内科医院の待合は患者で溢れていた。院内の雰囲気は乱さぬようにと案内された非常階段にも院長先生を待つ医療関係者が列を成している。各々の出番を肅々と待ち構えるいつもの光景だ。しばらくして出て迎えてくれた白岩さんは、疲れを微塵も見せずに穏やかな口調で取材に応じてくれた。

う言ってくれました。『お父さんが働いているのを見てこうして医者になつたのに、その診療所を簡単に畳むだなんて。そんな間当たりなことではないぞ』と

糖尿病初期から透析まで対応するには新しい体制が必要だった」と語る。現在のスタッフは看護師、薬剤師、管理栄養士も含めて50人体制。かなりの大所帯といえるだろう。

「糖尿病診療にはマンパワーが必要不可欠です。午前中に100人の患者さんが来院された際に、一人ひとりの声を聞いてサポートしていくにはチームとして診療にあたるほかありません。単に医師として診察をするだけではなく、コメディカルを含めてチーム一体となった診療ができてこそだと日々考えています」



PROFILE

白岩 俊彦 Toshihiko SHIRAIWA

1999年大阪医科大学医学部卒業後、大阪大学医学部附属病院第一内科に入局。2006年大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学にて博士課程卒業。大阪府立急性期・総合医療センター消化器代謝内科勤務、大阪大学医学部附属病院内分泌・代謝内科医員を経て、2002年7月より白岩内科医院院長に就任。2013年11月白岩内科医院を新築移転。2016年4月大阪大学大学院医学系研究科内分泌代謝内科特任講師に就任。

訊けば白岩さんが病に倒れた父親の診療所を継いだのは2002年。まだ大学院生の頃のことだ。診療所を閉めるという選択肢もあったが、出した答えは「三足のわらじ」だった。懐かしそうに目を細めながら当時のことを振り返る。

新たな診療所でのチーム医療

重くなると合併症をも引き起こす糖尿病。白岩さんの目指す「良質な治療」を行うためには他施設の専門医との「顔が見える連携」が重要で

して良いチームの礎が作れましたので、今後はスタッフ全員が常に最高のパフォーマンスを安定して発揮できるように環境整備を、科学的検証を行いつつ進めて参ります」

また、他施設の先生方や調剤薬局の薬剤師さんも含めた地域医療チームとして、糖尿病に苦しむ患者さん一人ひとりにオーダーメイド治療を提供していきたいと語る白岩さん。

最後に一人の医師として正直にこう語った。

「恰好い言葉が見つかりませんが自分が患者なら受けたいと思える医療を」とことん突き詰めた

「大学での研究、病棟回り、そして父の診療所と3つ掛け持ちです。一日に大学と診療所を2往復していました。小さな診療所でしたが、300人位の患者さんがいましたから、医局の先生たちにも助けってもらいながら、やり繰りしていました」と笑う。大学に残りながら診療所を続けるという決断を下すのは容易なことではないだろう。

白岩さんが「父の診療所」を新築移転したのは2013年。近隣の医療機関から重症糖尿病患者を紹介される声が多くなり、人工透析を希望する声が高まっていたのがきっかけだ。当初は専門外だからと心苦しくも断りを入れざるを得なかったそうだが「個々の体質に合った治療を」と考えを共にする透析専門医に出会い、新たな診療所を立ち上げた。

「糖尿病診療において大切なのは、患者さんが治療を継続していくためのモチベーションを維持していただくこと。患者さん一人ひとり体質も異なれば、症状も違います。また家庭環境も社会的立場もそれぞれです。

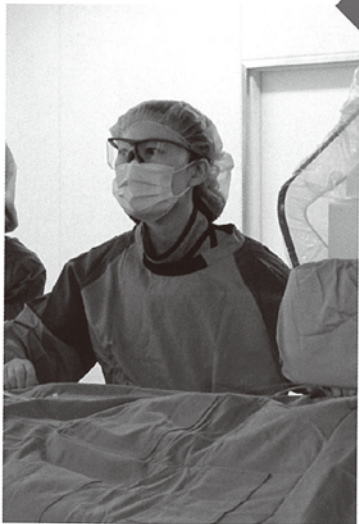
「先の透析医もそうですが、縁が縁を呼んでコメディカルも優秀な人たちが集まって来てくれました。こう

「先」の透析医もそうですが、縁が縁を呼んでコメディカルも優秀な人たちが集まって来てくれました。こう

「先」の透析医もそうですが、縁が縁を呼んでコメディカルも優秀な人たちが集まって来てくれました。こう

「先」の透析医もそうですが、縁が縁を呼んでコメディカルも優秀な人たちが集まって来てくれました。こう

冊子 切抜

医療の世界で
生きる女性たち岐阜県／循環器科
石黒 まやさん世界トップレベルの医療を学び
それを地域で実践したい

大阪医大を卒業後、岐阜県総合医療センターで研修をスタート。現在は国内留学制度を利用し東京都府中市にある、国内でも有数の症例数を誇る榊原記念病院に勤務。「やさしさのない知識は凶器となり、知識のないやさしさは無力である」とはノーベル賞受賞者の言葉。中学生の頃感銘を受け「勉強しなくちゃ」と思ったそう。いまでもとにかく勉強家である。

【文・写真／フレンシオ編集部】

◆待ち合わせの岐阜県総合医療センターにカーポートを引いて現れた、循環器内科医の石黒まやさん。今回の取材場所は石黒さんの故郷、岐阜県だったのだが帰郷するのは三ヶ月ぶりだそう。実家でのんびりするのとかと尋ねると「このまま東京に帰るんです」との答え。なんとも忙しい。

小学三年生のころ、おじい様を癌で亡くした。幼心に「病気は心配しているだけじゃ治せない」と痛感し、医師を目指すようになった。循環器科を選んだのは「突然死を防ぎたいんです。またご家族と会えるようにしてあげたいんです」という石黒さんならではの動機だ。

劇的救命でかつよく手術をするだけではなく、慢性疾患の患者さんとそのご家族に寄り添いケアをしていくのも医師として大切——と語る石黒さん。

女性らしい感性の持ち主かと思いきや、学生時代には弓道に打ち込んでいたそうで、参段の腕前を持つ。女子弓道部のみならず男子弓道部の主将も兼任した。「弓道の勝敗には男も女も関係ないんです。だから、男性の多い今の職場でもやっていけるのかも。循環器科って時間が不規則だから、じつは意外に女性には不人気なんです」と、笑顔の下にガッツのある一面もぞかせる。

国際学会での研究発表にも積極的に挑戦していて、5月にはメインでの発表が控えているという。「シンク・グロ—パリ、アクト・ローカリ—」。世界中の成果を共有し各地域で実践する。そうすることで地球上の誰もが一流の医療を受けられる。それが今後の夢であり理想です。

★★★precio VOL.63(2017.5) に石黒まや先生（学 60 期）の記事が掲載されましたのでご紹介いたします。★★★

プラタナス ～私のカルテから～

とび
金の鵒を知ってますか？
——ある町医者が残したもの

勝谷友宏

勝谷医院院長

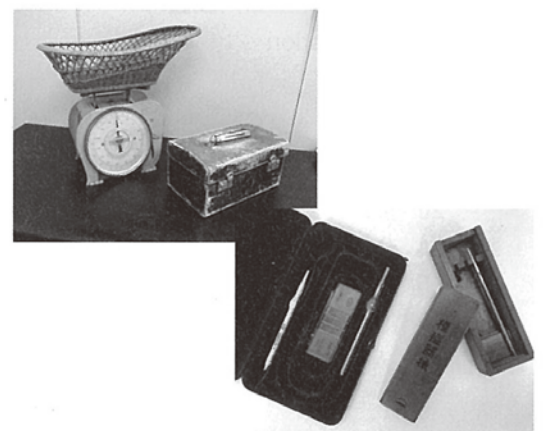
神 武天皇は東征の途上、苦戦を強いられていた。この時、天皇の弓の先端に飛来した金色の鵒が眩い光を放ち、敵軍の戦意を消失させたという。勝利した神武天皇が橿原の地で即位したのがかつての紀元節、現在の建国記念の日である。「金の鵒を知ってますか？ 今の若い方はご存知ないですね」は、昨年11月に88歳で現世に別れを告げた父、積治の決まり文句でもあった。

父は大和高田に生まれ、「金の鵒」が校章であった旧制畝傍中学を経て陸軍経理学校へ進学、卒業する直前に終戦を迎え、結核を患いながらも大阪医大を無事に卒業、阪大の研究室で学位を取得後、母と出会い橿原神宮（金の鵒がご守り）で挙式。昭和34年に尼崎の下町で開業してからは54年間、倒れる前日の晩まで現役で働き通した。「町医者」と呼ばれることが誇りで、患者と一緒に政治、社会、家庭問題など1時間近く話し込むことも稀ではなく、時には叱り飛ばすこともあった父。亡くなった後も、その思い出を私の外來で語る患者が後を絶たない。

温厚篤実で勉強熱心、日本医事新報を愛読し、80歳を超えても最先端の知識を自分なりに咀嚼し「おい、こんなこと知っているか」と私に説明してみせることも日常茶飯事であった。医師会の勉強会や地区会、X線や心電図の読影会は40年以上皆勤、大瓶3本のビールでの晩酌を楽しみに、手のかかる息子2人と病気の母の面倒をみながら、父は真っ直ぐに激動の時代を生き抜いてきた。

私の手元に残る父のカルテを眺めると、細かい字でびっしりと自らの現病歴が余すことなく記載され、その折々の病状がつぶさに把握できることに驚かされる。自分が患う高血圧も主治医である息子（私）の研究の糧にと、家庭血圧の第一人者である東北大の今井潤先生の研究に惚れ込み、HOMED-BP研究のエントリーNo.1を率先して務める傍ら、私のDNA研究の大切さを患者に熱く語りながら同意取得を行ってくれたおかげで、日本を代表する高血圧の遺伝子研究も実践できた。

診察室の足下で、住み込み看護師にあやされながら父の背中を見て育ち、20年に及ぶ大学での研究生活を経て、そして今、町医者として迎えた9年目の新年。今も現役で活躍する半世紀以上にわたって使い込まれた往診鞆と体重計（写真上）や、机の引き出しに仕舞い込まれた時代を感じさせる機器（写真下：血球計算機と種痘器械）を眺め、父はあの世で金の鵒に会えたのだろうか、と思いを巡らせるのであった。



★★★平成 27 年に病氣療養中で仁泉会活動に参加できない故勝谷積治先生（学 2 期）に代わりご入会を頂きました勝谷友宏先生（特別会員）のエッセイが日本医事新報（2017.3.4）に掲載されましたのでご紹介いたします。★★★

新聞切抜

医療の現場 届け400回

——第1回は、中川やよい医師（大阪市旭区、中川医院院長、当時広報担当理事）が執筆した「患者さん本位の医療」。以来10年で400回。感慨を。

茂松 先生方に協力いただき、その時々医療のトピックスを書いてもらってききました。府医師会が取り組む活動の中で、外部への広報活動の象徴。読んでいただくみなさまのプラスになっただけはうれしいです。

——茂松会長が執筆されたのは、07年4月17日の「社

茂松茂人・府医師会長 連載と活動へ思い

毎週火曜日掲載の「近所のお医者さん」が400回を突破した（1月24日付）。スタートは10年前の2007年4月3日。府医師会所属のお医者さんたちが、患者とのふれあいや、現場で感じたことなどをつづってきた。これからも回を重ねていく。折しも今年は府医師会の創立70周年の節目にもあたる。昨年6月に会長に就任した茂松茂人さん（64）に、連載への思いと府医師会の活動について語っていただいた。

【聞き手・関野正】



校医から災害救急まで

——会員の先生方の原稿を皮切りに計4回。直近では会長就任直後の16年6月28日の「国民皆保険制度（第377回）」でした。ご自身は、文章を書かれるのはお好きですか？

茂松 話すことは大好きですが、書くことは苦手。苦勞しています。整形外科医です。高齢者の医療や腰痛・肩こりといった話題は書きやすいです。

——「社会に迷惑を掛けている」という意識を持ってもらえ、声は出されません。代わって医師会が主張していかなければなりません。我が声を上げると「医者が自分の仕事のために言っているのではないか」と思われることがあります。が、国民医療を守り、充実させることは、府民、ひいては多くの国民の皆さんのためになります。これからご理解をいただく努力を続けていきたいと思えます。そうした課題をつきつければ、年々、医師会にはさらに一致団結しなければなら

★★★2017年2月25日付の毎日新聞に茂松茂人先生（学27期）の記事が掲載されましたのでご紹介いたします。★★★

仁泉会事務局メールアドレスについて

この度、事務局のネットワーク整備に伴い、2つあったメールアドレスの内、jinsenkai@etude.ocn.ne.jp は平成27年11月末日をもって廃止となりました。今後はjimu@jinsenkai.netのみとなりますのでよろしくお願い致します。

廃止：jinsenkai@etude.ocn.ne.jp

現行：jimu@jinsenkai.net

新聞切抜

「先端技術と『お節介』で高齢者見守り」

脳外科医にして工学博士が、コミュニティづくりに知恵を絞っている。日本大学工学部（福島県郡山市）教授の酒谷薫（61）は、ベッドセンサーや電子水道メーターで高齢者を24時間見守る郡山市の実証実験を担いながら、世界で役立つ地域社会の「福島モデル」を模索する。「結局、人の心をどうやって活性化させるか。これに尽きる」。キーワードは「下支えの先端技術」と「お節介」だ。

実証実験は高齢者の日常生活に異常がないか、離れた場所でも把握できるシステムを構築するもので、昨年4月から30世帯を対象に実施。単身世帯の増加や薄れる近所づき合いへの対応

東北人の一計

第15部 提言編



日本大学工学部教授

酒谷 薫さん（61）

地域包括ケアモデルに

を追われていることが、改理由に高齢者が家を出て、めて気づいたのはコミュニティの大切さだ。

月1回の集会で、データの下支えだと、僕自身が勉に基づく健康相談に応じた強になった」

り、認知症予防のため脳の血流を最新機器でスビードの援助で開設した中国の病検査したりすると、それを院に勤務した経験もある。

さかたに・かおる 神戸市出身。1987年に大阪医科大学医学博士。米ニューヨーク大、エル大、北京日中友好病院などを経て2012年から現職。専門は脳神経外科。北海道大で脳を解析する光学装置を研究し、98年に工学博士号も取得。

現地の伝統医学では食物で病気を防ぐ「食医」が最も尊ばれ、薬や手術に頼るのは「下の医者」とされた。「元気にして病気を防ぐ」

発想はコミュニティづくりに応用できるとみる。脳には不快なストレス（distress）と快ストレス（eustress）があるという。違いは「もういっやだ」と「しんどいけど、またやりたい」。

高年齢者が健康を損なう大

毎月集会も「少し面倒だけど、行けば楽しい」のがミソだ。

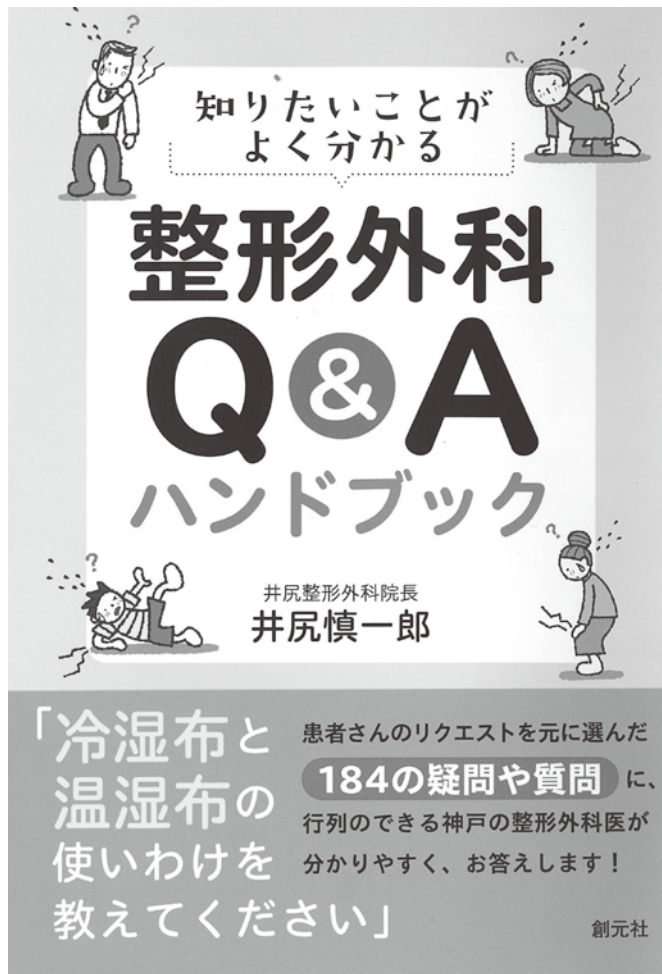
脳を測定すると、化粧や香り、趣味のダンスといった「楽しみ」が血流のリラックスパターンを生んでいる。「高齢者には、むりやり計算問題をやらせるようなことをせず、楽しく五感を刺激すれば脳が活性化する」。コミュニティの衰退予防にも、「快ストレスが有効かもしれない」と話す。

地域社会の快ストレスの代表は「お節介」だと考えている。ちょっと鬱陶しいけど楽しく話したり、進んで相談のつてくれたりする存在。AI（人工知能）を使った技術の開発も、お節介な人材との関係を支える視点が必要になる。

高年齢者が健康を損なう大

★★★平成29年2月15日付の日本経済新聞に酒谷 薫先生（学30期）の記事が掲載されましたのでご紹介いたします。★★★

会 員 著 書

「知りたいことがよく分かる
整形外科 Q&A ハンドブック」

井尻慎一郎（学 31 期）／著
出版社／創元社
価格／¥1,400＋税

新刊本のご紹介

文責／安藤嗣彦（学 20 期）

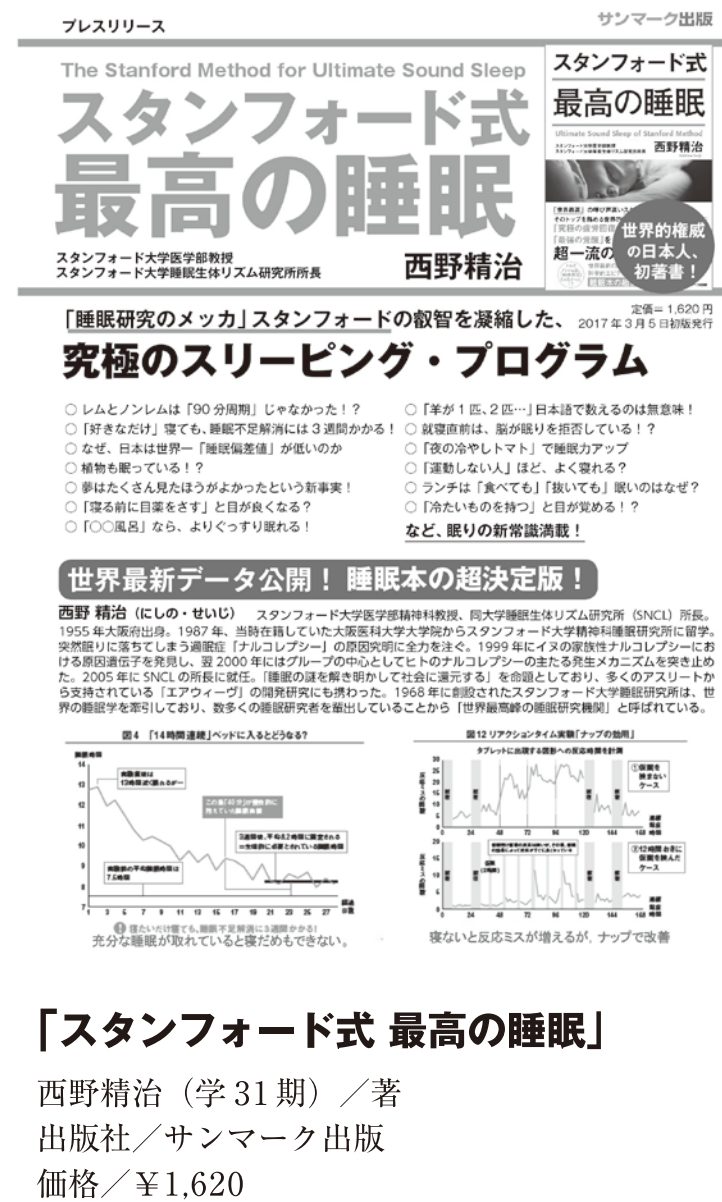
学部 31 期の井尻慎一郎先生（神戸支部所属）が、“整形外科 Q&A ハンドブック”と題する一般人向けの単行本を創元社より自費出版されましたのでご紹介いたします。先生は大学卒業後、京都大学病院で研修並びに博士課程を修了後、神戸中央市民病院で整形外科医長として長年診療に携われた後、神戸の垂水区で開業されておられます。先生は、過去にも 3 冊の一般人向けの整形外科関連本を自費出版され、今回が 4 冊目となります。その他、先生は開業後に 12 編の論文を執筆されると共に、約 50 回もの講演、更には多くのテレビやラジオ放送にも出演されています。私の知る限り、一般開業医として毎日の忙しい診療や医師会活動を抱えながら執筆や講演をされるのは、かなりの労力と忍耐が必要で、改めて敬意を表します。今回、執筆された新刊本は、先生が日頃の診療において患者さんから受けた整形外科領域の疑問を中心に、判りやすく解説された一冊です。我々も、日頃の診療で、専門分野以外の質問を患者さんから受けたときに、返答に躊躇する時もあります。一読下さい。

メディア掲載・書籍発行の際は
編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。（自薦・他薦は問いません）

仁会会事務局 TEL／072-682-6166 FAX／072-682-6636
e-mail／jimu@jinsenkai.net

会 員 著 書



「スタンフォード式 最高の睡眠」

西野精治（学 31 期）／著
出版社／サンマーク出版
価格／¥1,620

新刊本のご紹介

文責／永田昌敬（学 30 期）

バスケット部 OB の西野精治君（学 31 期）がこの度サンマーク出版から「スタンフォード式最高の睡眠」を出版されました。ご存知の方も多いと思いますが彼は大阪医科大学精神神経科に入局後 故早石 修元大阪医科大学学長の要請で 1987 年スタンフォード大学へ留学。数年で帰国するつもりでしたが現在もスタンフォード大学医学部精神科教授、スタンフォード大学睡眠生体リズム研究所長として日夜睡眠の研究に没頭しております。彼はバスケットボール部で 1 年後輩ですが、クラブ活動以外でも昼夜なく遊んだ仲間です。

2016 年夏に私たち夫妻がスタンフォード大学へ久しぶりに行きましたら智恵子奥様と共に多忙な時間を割いて大学構内を案内して食事と共にさせていただき和やかな 1 日を過ごしました。先日智恵子様よりメールがあり出版のお話を知りました。大阪の出版記念パーティーにお誘いを受け参加。当日は西野ご夫妻の出身校大阪教育大学付属天王寺校舎 OB 会会長の堀 正二先生(大阪府立成人病センター名誉総長・元大阪大学医学部教授)もご出席されていました。西野君は同窓会の北米支部長との事でした。彼は多くのアスリートから支持され昨年のリオデジャネイロオリンピックで日本選手団に採用され JAL の長距離路線で使用されている「エアウィーヴ」の開発研究にも携わっています。皆様ご一読下されば幸いに存じます。

まんが 第 25 回 スペシャル・拡大版

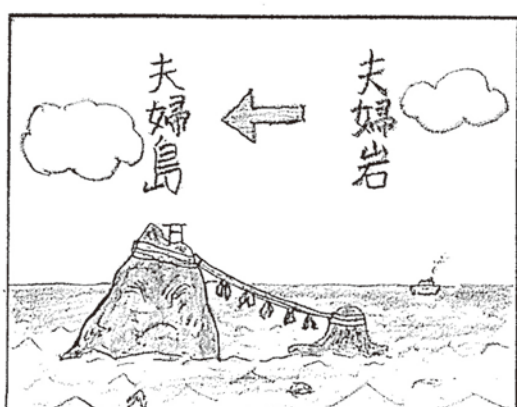
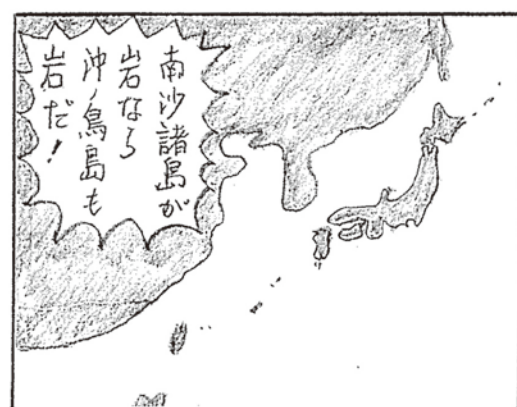
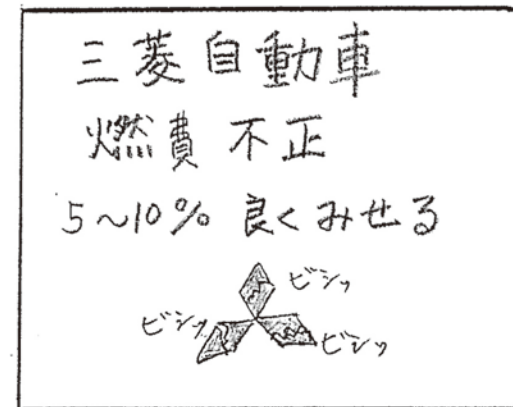
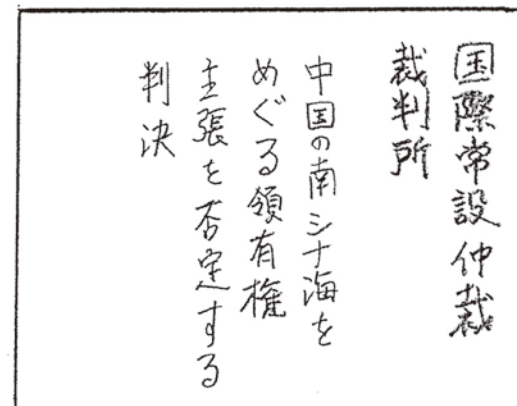
君の名は。ぽん太むら（学 31 期）

壁ドン

判決

燃費

本当にこわい家庭の医学



エッセイ

歴史を彩った女性達（5）

西村 保（学 4 期）

江戸時代は封建制度が確立し、儒教が浸透して「女大学」の「女、幼くしては父母に従い、嫁しては夫に従い、老いては子に従うべし」とか「女、三界に家なし」などと教育され、まさに、がんじがらめであったが、その前の戦国時代の女性は非常に大らかであった。城主が出陣している間は家中の万端を取り仕切り、城主が武運つたなく討ち死にした時などはそのまま城主となって領土を治めたり、場合によっては出陣して戦闘に参加したりもした。そのような意味では男女同権であったと云える。その代表が井伊直虎である。

もともと井伊氏は遠江国井伊谷（現静岡県引佐町）を本拠地とする藤原氏の末裔である。その子孫が代々井伊谷に住み井伊氏と称したのである。

井伊谷の井伊氏の活動が活発になるのは、当時、強大な勢力を誇った今川氏に仕えた井伊直平以降であるが、直宗、直盛は今川軍に従って従軍したが武運つたなく討ち死にし、その子直親も家臣の讒言により今川氏の命令で謀殺された。直親の子虎松は幼児であったため跡継ぎが無くなったので、既に出家し尼となっていた次郎法師が還俗して一時的に後継し、女子ながら直虎と名乗ったのである。

このように井伊氏は今川氏の属領として今川氏の云うがままになっていたが気丈な女城主の直虎は必ずしも今川氏の命令に従わなかったので失脚させられた。その上、直親の子虎松の命も危うくなったので女城主直虎は密かに信頼する寺に預けた。この子が後に井伊直政になった。そして 1560 年、運命の桶狭間で、今川義元が

討ち死にしてからの今川氏は次第に衰微して行き、長らく人質となっていた松平元康（後の徳川家康）が今川家から解放されて岡崎の領地に戻る時に家臣となったのが井伊直政で、その後も代々徳川家に仕え、彦根 35 万石を領するようになった。つまり女城主直虎が居たからこそ井伊家が存続し、その後長らく譜代大名の筆頭として老中を務める家柄となったのである。そして幕末に大老となっていた井伊直弼は開国論者で米国と通商条約を結んだのを憤慨した尊王攘夷派の水戸浪士に殺害されたのが歴史で名高い桜田門外の変である。

寿桂尼は今川義元の母である。夫の今川氏親が若くして死んだとき、跡継ぎの氏輝は未だ幼かったので氏輝が元服するまでの 6 年間、駿河、遠江両国の実質的な領主であった。戦場に赴いたわけではないが公家の出だったので、京の人脈を利用して政治的手腕を発揮した。その氏輝も若くして死んだので次男の義元が後継となるように画策した。この義元が一時は天下をうかがおうかと云うほどに大きく勢力を伸ばしたのである。つまり寿桂尼が居たからこそ今川氏が存続したのである。

甲斐姫は北条氏政の家臣だった成田氏長の娘である。氏長が男子に恵まれなかったので、女ながら大柄で力も強かった甲斐姫に馬術、兵法、武術などを仕込んだので、成人する頃には天晴れな武将としての風格を備えるようになったと云われている。その上絶世の美女であった。

天正 18 年、豊臣秀吉の小田原攻めの際、父の氏長は主君の氏政に従って小田原城に籠城するにあたり、甲斐姫は居城である忍城の留守を任された。そこへ秀吉の命を受けた石田三成が 2 万 3000 の軍勢で攻めてきた。対する忍城の兵力は僅か 300 であった。甲斐姫は籠城して機をうかがい、たった 200 騎を率いて出陣し

た。鎧をまとい、家伝の名刀「波切」を片手に、白馬にまたがって敵陣に斬りこみ、三成軍を撃退した。それ以来三成は「女に負けた戦下手」としての評価がつきまとったのである。この武勇伝で秀吉に気にいられ、後に側室として迎えられた。

妙林尼は大分の鶴崎城の城主の城主・吉岡鑑興の妻であったが、鑑興が島津軍と戦って討ち死にしたので出家して妙林尼になってから鶴崎城の城主となり、勢いにのって攻め寄せてきた島津軍を獅子奮迅の働きで撃退した。この際 63 の首級を挙げたと云われている。

鶴姫は備中（岡山）常山城の城主・上野隆徳の妻であったが、毛利軍が侵入してきた時、自ら戦闘に参加し、なんと 100 の首を獲ったと云われている。話半分としても 50 である。

その他、戦国時代には多くの女城主が存在し、男に勝る数々の武勇伝が伝えられている。まさに多士済済ならぬ多女済済である。



ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用していただきたいと思います。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
- 「仁泉ひろば」のコーナー
- 研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
- 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
- 紹介したい店、場所、物など
- 本誌に取り上げて欲しい話題

字数には制限は設けません。葉書 1 枚、便箋 1 枚でも結構です。

- 広告に関して

会員自身が出される広告は今現在 100 字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

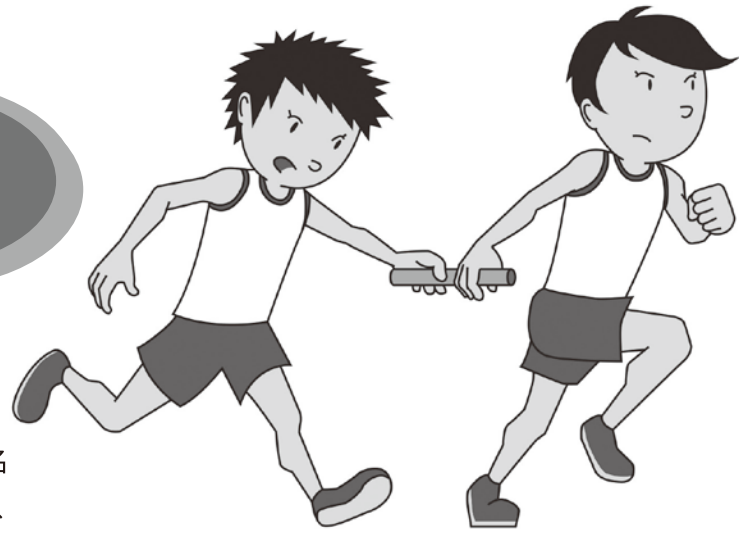
（内容により有料の場合があります）

事務局編集係

リレーエッセイ

親子リレー

鉄村信治（学 44 期）



前号、成山雅昭先生（学 37 期）からご指名を受けました学 44 期の鉄村信治です。現在、奈良県天理市の奈良東病院で整形外科・リハ医として勤務をしており、約 3 年前よりかけだしですが理事長職を引き継いでおります。

もともと大した趣味もないのですが、数年前よりウォーキングをしています。一応、整形外科とリハが専門なので、患者さんに運動指導している手前上実践している。と、言いたいところですが、御多分に漏れず、恥ずかしながら高尿酸血症・脂質代謝異常など発症し、始めた次第であります（痛風に関しては、色んな人に飲み過ぎではなく遺伝的な素因で…と説明するのですが、誰一人信じてくれません）。

近年のブームもあり、いつも歩いている近所の歩道は、夜 10 時位でも驚く程たくさんの方がウォーキングやジョギングをされており、しばしば 80 代の方に追い抜かれている様な有様です。

そんな中、昨年秋に息子が通う幼稚園の運動会で親子リレーに参加しました。親子がペアを組み、子供から親へバトンを繋いでいくといったルールです。職業上、このシーズンは運動会でアキレス腱断裂や肉離れになり受診されるお父さん方が多い事はよくわかっており、事前のストレッチを十分に行い、間違っても全力は出さない心づもりで臨みました。リレーが始まると、幸い？息子のクラスは最下位であり、「まあ、どうせ最下位やから力を抜いて適当に走ればいいや」とほくそえんでおりました。ところが、

息子の番が回ってくる直前に先行組のバトンミスで、なんと息子が 1 位となり走ってくるではないですか！バトンを引き継いだ瞬間に、全てを忘れラグビー部時代を思い出しダッシュした瞬間、“ぷちっ”とした感覚がふくらはぎに出現し、脚を引きずりながら何とかゴールとなりました。即座に右腓腹筋挫傷の診断がつき、代わりに車の運転をさせられる事になった嫁の冷やかな視線にさらされながら帰路につきました。翌日からスタッフや患者さんに色々聞かれましたが、顔をひきつらせながら言い訳をする日々が続きました（怖くてエコーはしておりません）。今さらながらですが、皆様方も運動する際にはぜひお気をつけ下さい。

さて、先日某先輩に酔っぱらった勢いで今年の大阪マラソンにエントリーする事を約束させられました。この様な体たらくぶりでとても完走できるはずもなく、翌日後悔しておりましたが、「どーせ、エントリーの倍率高いから落選するわ」などと余裕をかましておりました。すると、先輩が「高率で当選する裏技があるんやで～」と嬉しそうに言っているのを聞き、今から凹んでおります。

最後に次号ですが、ラグビー部のチームメイトであり、住吉区で竹安眼科を開業されている竹安一郎先生(学 43 期)にお願いしております。

本部だより

会員訃報

次の会員が亡くなりました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医 10 期 坂口憲吉先生

平成 29 年 2 月 8 日心不全の為ご逝去（99 歳）。昭和 16 年卒。
昭和 21 年 2 月広島県庄原市にて産婦人科・内科をご開業になり、97 歳までの約 70 年間臨床医として地域の為に尽力されました。
平成 20 年に地域医療への貢献により瑞宝双光章を受章されました。
ご遺族 妻 愛子様

高医 13 期 大橋謙太郎先生

平成 28 年 12 月 1 日肺炎の為ご逝去（95 歳）。昭和 18 年卒。
昭和 36 年より平成 28 年 3 月まで守山市にて内科をご開業になり、ながきに亘り地域医療に貢献されました。
ご遺族 長男 謙次様

高医 13 期 田中申爾先生

平成 28 年 10 月 13 日老衰の為ご逝去（97 歳）。昭和 18 年卒。
卒業後愛知県にお戻りになり、名古屋大学小児科学教室に入局されました。厚生連加茂病院でのご勤務を経て、昭和 51 年に豊田市にて田中小児科医院を開設されました。ご長男が医院を承継された後も 90 歳におなりになるまで診察を手伝われ、地域医療に尽くされました。
ご遺族 長男 潤様

高医 16 期 筒井正晴先生

平成 28 年 3 月 14 日多発性の為ご逝去（92 歳）。昭和 22 年卒。
昭和 29 年に吉野川市にて内科を開業されました。昭和 42 年廃院後、徳島県職員としてご勤務になり、以降徳島県医務課長、各保健所長、徳島保健所長を歴任されました。また、80 歳

になられるまで血液センターなどに随時ご勤務になり、地域医療に尽力されました。
ご遺族 長男 博貴様

高医 17 期 丸山敬事先生

平成 28 年 11 月 9 日急性心臓死の為ご逝去。（93 歳）。昭和 23 年卒。
卒業後、島根県にて内科を開業されました。昭和 33 年からは出雲市出雲鉄道診療所長をお務めになり昭和 58 年に退職されるまで地域医療に貢献されました。
ご遺族 長男 敬悟様

高医 19 期 曾野 功先生

平成 28 年 11 月 26 日パーキンソン病による心不全の為ご逝去（90 歳）。昭和 25 年卒。
昭和 34 年に医学博士号を取得されました。昭和 38 年に三重県津市にて内科をご開業になり、平成 28 年 3 月までのながきに亘り地域医療に携わられました。昭和 56 年 4 月からは三重県警察医もお務めになっておられました。平成 15 年に警察庁長官表彰、平成 22 年に三重県民功労者表彰、瑞宝双光章、平成 25 年に日本臨床内科医会地域医療功労者表彰と数々の表彰受章をされました。三重県支部の集まりにはいつも喜んで参加されておられたとのご遺族様のお言葉です。
ご遺族 長女 川村玲子様

高医 19 期 瀧川寅一先生

平成 28 年 5 月 5 日誤嚥性肺炎、大腿骨骨折の為ご逝去（89 歳）。昭和 25 年卒。
昭和 29 年 1 月から昭和 50 年 2 月まで大阪厚生年金病院に勤務されました。その後大阪市旭区にて内科・循環器科をご開業になり、平成 21 年 3 月に閉院されるまで地域医療に尽力されました。
ご遺族 妻 たきを様

高医 21 期 山本敏章先生

平成 28 年 9 月 8 日誤嚥性肺炎の為ご逝去（89 歳）。昭和 27 年卒。
昭和 36 年に寝屋川市にて内科・小児科をご開業になり、平成 24 年に閉院されるまでの 51 年間地域医療の為に尽くされました。
ご遺族 妻 斐子様

学部 2 期 近藤龍夫先生

平成 29 年 2 月 8 日誤嚥性肺炎の為ご逝去
(88 歳)。昭和 28 年卒。
昭和 29 年名古屋大学医学部医学科青山内科に入局されました。昭和 34 年より守山市民病院内科にご勤務になり、昭和 35 年に名古屋大学医学部博士課程を修了されました。昭和 37 年より名古屋市にて内科・小児科をご開業になり地域医療に貢献されました。
ご遺族 三男 尚之様

学部 3 期 荒木保馬先生

平成 26 年 2 月 5 日誤嚥性肺炎の為ご逝去
(84 歳)。昭和 29 年卒。
大阪梅田、東京銀座に眼科医院を開業されました。また日本コンタクトレンズ研究所にて代表取締役をお務めになっておられました。
ご遺族 妻 裕子様

学部 3 期 坂本 博先生

平成 28 年 12 月 29 日急性呼吸不全、放射線後間質性肺炎肺がんの為ご逝去 (87 歳)。
昭和 29 年卒。
東大阪市にて内科・小児科を開業されておられました。
ご遺族 長男 博和様

学部 3 期 中野武次先生

平成 28 年 8 月 5 日前立腺がんの為ご逝去
(87 歳)。昭和 29 年卒。
札幌地区病院、福岡検疫所にて外科医として勤務されました。大野城市誠愛リハビリテーション病院では最年長医師として、診療を支えておられました。
ご遺族 妻 祥子様

学部 6 期 濱田 誠先生

平成 29 年 2 月 11 日心不全の為ご逝去 (85 歳)。
昭和 32 年卒。
卒業後済生会中津病院外科に勤務されました。その後高槻市にて濱田医院を開設され、地域医療に貢献されました。
ご遺族 妻 章子様

学部 8 期 田中悦男先生

平成 29 年 1 月 2 日心不全の為ご逝去 (84 歳)。
昭和 34 年卒。
昭和 42 年 4 月より堺市にて産婦人科を開業されておられました。
ご遺族 長男 康志様

学部 12 期 宮浦康児先生

平成 29 年 2 月 7 日低酸素脳性の為ご逝去
(83 歳)。昭和 38 年卒。
昭和 39 年から昭和 50 年まで母校眼科学教室助手を、昭和 50 年から 58 年まで同教室非常勤講師をお務めになられました。昭和 50 年 5 月に大阪市鶴見区に宮浦眼科医院を開設され地域医療に携わられました。仁泉会鶴見区支部長として会務運営にもご尽力いただきました。
ご遺族 妻 良子様

学部 19 期 津森俊徳先生

平成 28 年 12 月 18 日突然死の為ご逝去 (79 歳)。
昭和 45 年卒。
昭和 38 年 4 月近畿大学化学科に入学され、医学部進学課程を経て昭和 41 年 4 月に母校に入学されました。昭和 45 年 6 月から昭和 50 年 9 月まで八幡製鉄所病院に勤務された後、同年 10 月から平成 26 年 5 月まで北九州市にて内科をご開業になっておられました。仁泉会前福岡県支部長として会務運営にもご尽力いただきました。
ご遺族 妻 紀美子様

学部 26 期 石川正樹先生

平成 29 年 2 月 21 日上咽頭がんの為ご逝去
(66 歳)。昭和 52 年卒。
卒業後、母校整形外科教室に入局されました。神戸済生会病院でのご勤務を経て、平成 2 年 1 日に豊中市にて石川整形外科を開設され、患者様との信頼関係を大切に地域医療に取り組まれました。
ご遺族 妻 達子様

学部 30 期 奥村雅史先生

平成 28 年 12 月 15 日胆管がんの為ご逝去
(62 歳)。昭和 56 年卒。
卒業後、母校耳鼻咽喉科に入局されました。平成 5 年より京都市・洛東耳鼻咽喉科医院に

ご勤務になっておられました。平成 8 年に生化学教室にて学位を取得されました。
ご遺族 妻 ゆかり様

特別会員 太田富雄先生

平成 28 年 11 月 27 日膵がんの為ご逝去 (85 歳)。
昭和 31 年京都大学を卒業されました。助手、講師を経て、昭和 43 年より大阪市立大学にて、昭和 48 年より京都大学にて助教授をお務めになり、昭和 50 年に大阪医科大学第一外科教授として赴任されました。平成 12 年に名誉教授になられました。「昨年 7 月熱中症かと検査を受けたところ膵臓がんと診断され本人も驚いておりましたが、これまで通り毎週脳ドックの診察をし、自宅では一日中パソコンに向かって仕事をしておりました。当日も原稿に手を入れ、メール送信をし、安らかに永眠致しました。大阪医大には 25 年以上お世話になり、著書や発表などほとんどの仕事をさせていただき感謝しております。」とのご遺族様のお言葉です。
ご遺族 妻 阿紀子様

特別会員 山嵜三樹先生

平成 28 年 1 月 26 日脳出血の為ご逝去 (76 歳)。
眼科学教室にて講師をお務めになられました。枚方市民病院では眼科部長としてご勤務になられました。
ご遺族 妻 翠様

編集後記

今号も母校卒業式、各支部だより、新聞切り抜き、エッセイなど盛りだくさんの内容になりました。投稿いただいた先生方にはお礼申し上げます。
諸先輩の文章の見事さにはいつも感心しております。小筆など小学生のころから作文が苦手、文章をあまり書かなくてもよいのではと、この職業を選んだ面もあります。しかし最近、文章を作成しなければならぬ機会が増えました。紹介状などの定型的文ならまだよいの



ですが、なかなか苦労しております（この編集後記もしかりです）。そのような小筆とは違い、学 31 期の井尻先生が臨床で忙しく仕事をなさっている中で、本を上梓されたのは、本当に素晴らしいことだと感心しております（P44）。本発刊でなくても、医師会報などに投稿されたものがあれば、当ニュースにも転載させていただきたく存じますので、ぜひお寄せください。
5 月 28 日神戸で行われます総会。返信ハガキの投函をよろしくお願い申し上げます。（治）

医療ビル テナント募集

- ◆場所:大阪市浪速区難波中2丁目3-3
◆坪単価 12,000円 ◆保証金 家賃の10ヶ月分(要相談)
* 家賃は共益費込となっております。



クリニックビルのテナントを募集いたします

- ★3Fエリア【約40坪】になります。
◆内装美装（そのままお使い頂けます。）

1F・2F
消化器内科・肛門外科・内科・外科
4F
皮膚科・美容外科

5F
レディースクリニック
*各階盛業中

★大阪難波駅徒歩すぐという好立地条件
開業をお考えの先生方、
お気軽にお問い合わせ下さい。
詳しくはお電話にて。

お問い合わせ先
森川クリニック 森川浩志（学36期）

☎072-846-1107



ハードルをジャンプ!!

地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの

医療印刷

タツミ印刷株式会社

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻

tel: 072-761-8434

“大阪医科大学関係者の皆様”へ

FELICE で

フェリーチェ

理想の結婚

フェリーチェは、メディカル人材企業との提携を通じて、
医療の第一線でご活躍の医師・歯科医師を中心にお迎えし、
理想の結婚をプロデュースすることを目的として
創設された会員制クラブです。
万全の個人情報管理と医療業界を熟知した専任コーディネーター
だからできる「洗練された出逢い」をあなたに。

<成婚事例>

男 性	女 性
31歳 大阪医科大学 医師	♥ 29歳 大阪外国語大学 会社員
39歳 関西医科大学 医師	♥ 33歳 兵庫医科大学 医師
35歳 大阪市立大学 医師	♥ 31歳 大阪医科大学 医師
34歳 慶應義塾大学 医師	♥ 26歳 神戸女学院大学 英語教師
36歳 神戸大学 医師	♥ 33歳 関西医科大学 医師
42歳 大阪医科大学 医師	♥ 32歳 神戸大学 客室乗務員
37歳 大阪大学 医師	♥ 30歳 武庫川女子大学 薬剤師
33歳 大阪医科大学 医師	♥ 27歳 神戸薬科大学 薬剤師

大阪医科大学関係者様 限定キャンペーン

詳しくはお問合せください。



フェリーチェは、個人情報保護を第一に、あえてオーソドックスなスタイルを守り、
医療業界を熟知した専任コーディネーターがご本人様のお人柄・ご要望をしっかりと把握し、
最適なお相手をご紹介します。

- 入会資格
- ◇男性25歳～50歳 医師、歯科医師
- ◇女性20歳～37歳 医師または短大・専門学校卒以上
- 男女ともに結婚をお考えの独身者の方
- ※上記条件を原則として、そのほか本クラブの独自の入会審査基準がございます。

詳しくはフリーダイヤル、またはホームページにて、フェリーチェのすべてがわかる資料をご請求ください。

☎ 0120-683-156 www.felice.cc

受付時間 / 10:00～20:00 水曜定休日

※「フェリーチェ」で検索してください。

フェリーチェはおかげさまで **創立15周年** を迎えました。そして、約4000社ある事業者の中で「紹介内容の的確さ」「スタッフのサポート体制」など
11項目からなる「顧客満足度の高い会社」 **2年連続 総合1位** （オリコン株式会社調べ）との評価をいただきました。
今後とも「真の顧客サービス」を目指し、皆さまのご結婚を全力でサポートさせていただきます。

無料 親御様向け説明会のご案内

毎月1500件以上のお見合いをコーディネートしているプロフェッショナルがどんなご相談にもお応えします。

プライマリッジ株式会社
www.prime-marriage.com



結婚相手紹介サービス業認証機関より適正な
サービス事業者として認証付与を受けています。



一般社団法人
日本結婚相手紹介サービス協議会

個人情報管理・プライバシー保護には
細心の注意を払っています。

銀座ラウンジ 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル4F
芦屋ラウンジ 兵庫県芦屋市栄平町6-16 芦屋ファルファール4F
横浜ラウンジ 横浜西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA4F
梅田ラウンジ 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第四ビル10F